

取手市自転車活用推進計画(案)

取手市

目次

1. 計画の概要.....	1
1.1 計画の趣旨.....	1
1.2 計画対象区域.....	1
1.3 計画期間.....	2
1.4 計画の位置づけ.....	2
1.5 上位・関連計画.....	3
1.6 自転車の活用による持続可能な開発目標(SDGs)の取組.....	4
2. 自転車を取り巻く現状と課題.....	5
2.1 本市の現況.....	5
2.2 市民向けアンケート調査結果.....	10
2.3 課題のまとめ.....	55
3. 施策目標.....	56
3.1 茨城県施策目標.....	56
3.2 本市施策目標.....	57
4. 実施施策.....	58
4.1 基本方針.....	58
4.2 「いばらき自転車活用推進計画」からの施策選定.....	58
4.3 本市における実施施策.....	59
5. 実施施策の内容.....	60
目標1【安全安心】自転車事故のない安全で安心な社会の実現.....	60
目標2【観光振興】サイクルツーリズムの推進による地域の活性化.....	66
目標3【健康増進】自転車を活用した市民の健康増進.....	74
目標4【環境整備】自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備.....	80
6. 取手市自転車ネットワーク計画.....	85
6.1 自転車ネットワークの考え方.....	85
6.2 基本方針の設定.....	86
6.3 自転車ネットワーク路線の選定.....	87
自転車ネットワーク計画対象路線一覧(1).....	90
自転車ネットワーク計画対象路線一覧(2).....	91
6.4 整備形態の選定方法.....	92
7. 計画の管理・推進体制.....	95
7.1 計画の推進体制.....	95
7.2 計画の進捗管理・評価.....	95
取手市自転車活用推進会議 委員一覧.....	96
庁内推進会議組織構成.....	97
設置要綱.....	98

1. 計画の概要

1.1 計画の趣旨

国においては、自転車の活用による環境負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進等を図ることなど新たな課題に対応するため、交通の安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進し、交通における自動車への依存の程度を低減することによって、公共の利益の増進に資すること等を基本理念とする「自転車活用推進法」(平成 28 年法律第 113 号)が 2017 年 5 月 1 日に施行しました。また、都道府県や市町村においても、地域の実情に応じた自転車の活用推進に関する施策を含む計画を定めるよう努める旨を記しています。

茨城県では、2019 年 2 月に「いばらきサイクルツーリズム構想」、同年 3 月に「いばらき自転車活用推進計画」を策定し、広域のサイクリングを対象としたモデルルート of 整備に着手するなど、県内でも多くの自治体による自転車活用に対する機運が高まりつつあります。

本市においても、国や茨城県の計画を勘案して、自転車を活用した地域振興や自転車の安全利用に係る環境整備の促進など、本市の実情に即した取組みを実施していくことを目的とし、本書のとおり、取手市自転車活用推進計画を策定することとなりました。本計画を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の要素を反映させ、誰もが安全・快適に自転車を活用することができる地域社会の実現を目指します。

1.2 計画対象区域

本計画の対象区域は、取手市全域とします。

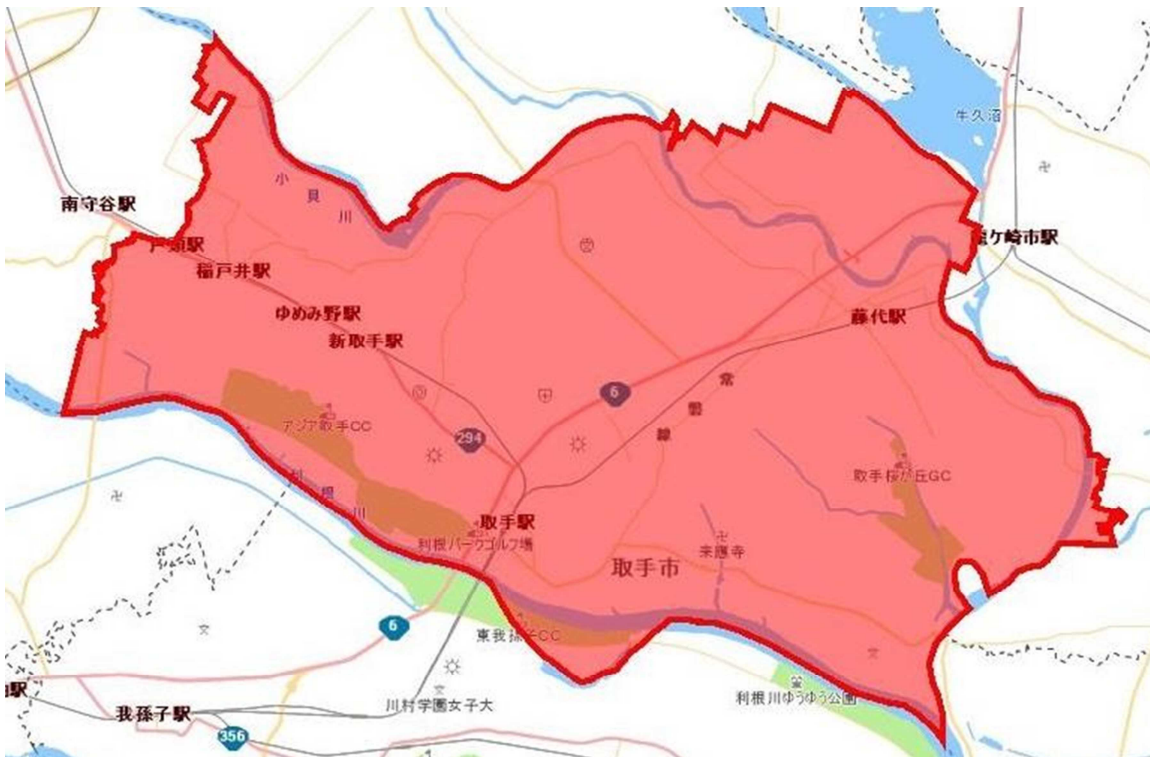


図1-2 計画対象区域(取手市全域)

1.3 計画期間

本計画の期間は、2023 年度から 2032 年度までの 10 年間とします。しかし、自転車の利用を拡大する上で、自転車が安全で快適に通行できる空間の整備や交通の安全の確保等の課題を達成することは容易でなく、長期的な視点に立った取り組みが求められることから、長期的な展望を視野に入れつつ本計画を進めることとします。

1.4 計画の位置づけ

本計画は、国の「自転車活用推進計画」並びに茨城県が策定する「いばらき自転車活用推進計画」を踏まえるとともに、自転車活用による地域の活性化等に向けた取組を推進するため、自転車活用推進法第 11 条に基づく市町村自転車活用推進計画として策定します。また、取手市の目指す将来都市像やまちづくりの方針を定めた「とりで未来創造プラン 2020」や「取手市都市計画マスタープラン」等の関連計画との整合及び連携を図るものとします。

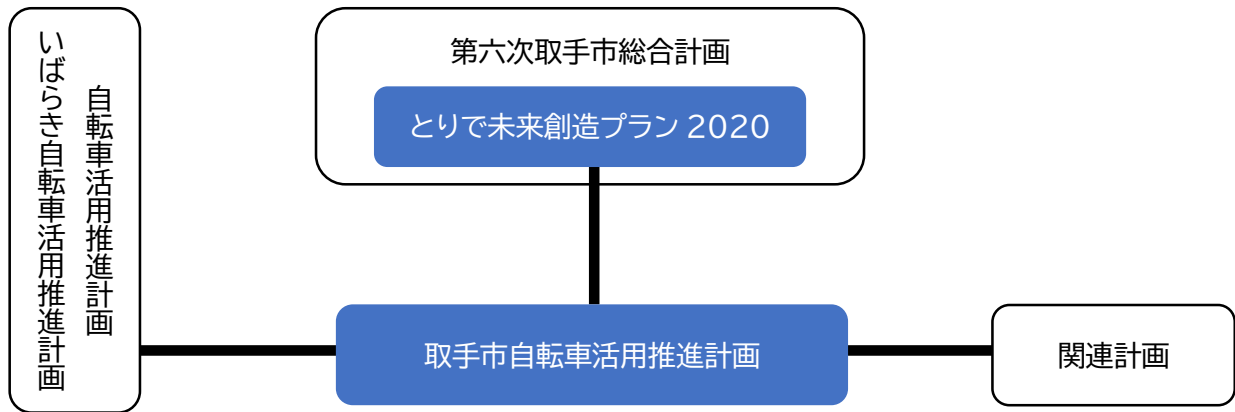


図 1-4 本計画の位置づけ

1.5 上位・関連計画

(1)上位計画

①自転車活用推進計画

2017年に施行された「自転車活用推進法」に基づき、我が国の自転車活用推進の基本となる計画として2018年に定められました。また、2021年5月に昨今の社会情勢の変化等を踏まえ、自転車の活用推進を一層図るため、第2次自転車活用推進計画が策定されました。

②いばらき自転車活用推進計画

茨城県における自転車活用による活性化等に向けた取組みを、総合的かつ計画的に推進するための最上位計画として、2019年3月に策定されました。市町村が計画策定する際の指標として位置づけられています。

③とりで未来創造プラン 2020

本市の最上位計画であり、市の施策や事業を展開するにあたって基本的な指標となるものです。将来都市像として「ぬくもりとやすらぎに満ち、共に活力を育むまち とりで」を掲げ、「持続可能な開発目標(SDGs)」の要素を盛り込んだビジョンを示しています。

(2)関連計画

①取手市産業振興戦略プラン

②取手市都市計画マスタープラン

③取手市地域防災計画

④取手市環境基本計画

⑤健康とりで 21

1.6 自転車の活用による持続可能な開発目標(SDGs)の取組

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、環境や健康、持続可能な消費など、世界の様々な問題を 2030 年までに解決するための国際的な開発目標です。

本市においても、地方自治体における SDGs の達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するものであり、推進していくことが重要であるとの観点から、第六次取手市総合計画である「とりで未来創造プラン 2020」に SDGs の要素を盛り込んでいます。

自転車の活用は、日常生活において自転車に乗るという行動が、地域の環境負荷の低減に寄与するとともに、自身の健康増進にもつながるなど、市民一人ひとりができる SDGs の取組となります。

本計画を通じて、自転車の活用による SDGs の取組が多様な分野や関係者との新たな交流や連携の機会を創出することを目指します。

SDGs	自転車施策との関わり	SDGs	自転車施策との関わり
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活の確保 市民、来訪者等の自転車利用 福祉の促進 交通死亡事故の軽減 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車通行環境の整備 移動手段の確保 自転車利用による環境負荷の低減
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車に関する各種情報提供、発信 各種自転車教室等の開催 各種交通安全教育の実施 	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車から自転車への転換
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光業の促進 通勤手段の拡大 (自転車通勤の促進) 	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用による環境負荷の低減
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車通行環境の整備 自転車を利用しやすい環境の整備 地元企業との連携 	 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携

図 1-6 本市の自転車施策と関連する SDGs

2. 自転車を取り巻く現状と課題

2.1 本市の現況

(1) 自転車の分担率

第6回東京都市圏パーソントリップ調査(平成30年)の「目的種類別 OD 交通量」によると、本市では通勤および私事において自動車の使用率が最も高く、自転車の使用率が低い傾向にあることがわかります。また、通学時の自転車使用率は他の目的に比べてやや高く、9.0%となっています。



OD 交通量：ある地域から、ある地域へと移動する交通量（単位はトリップ）。

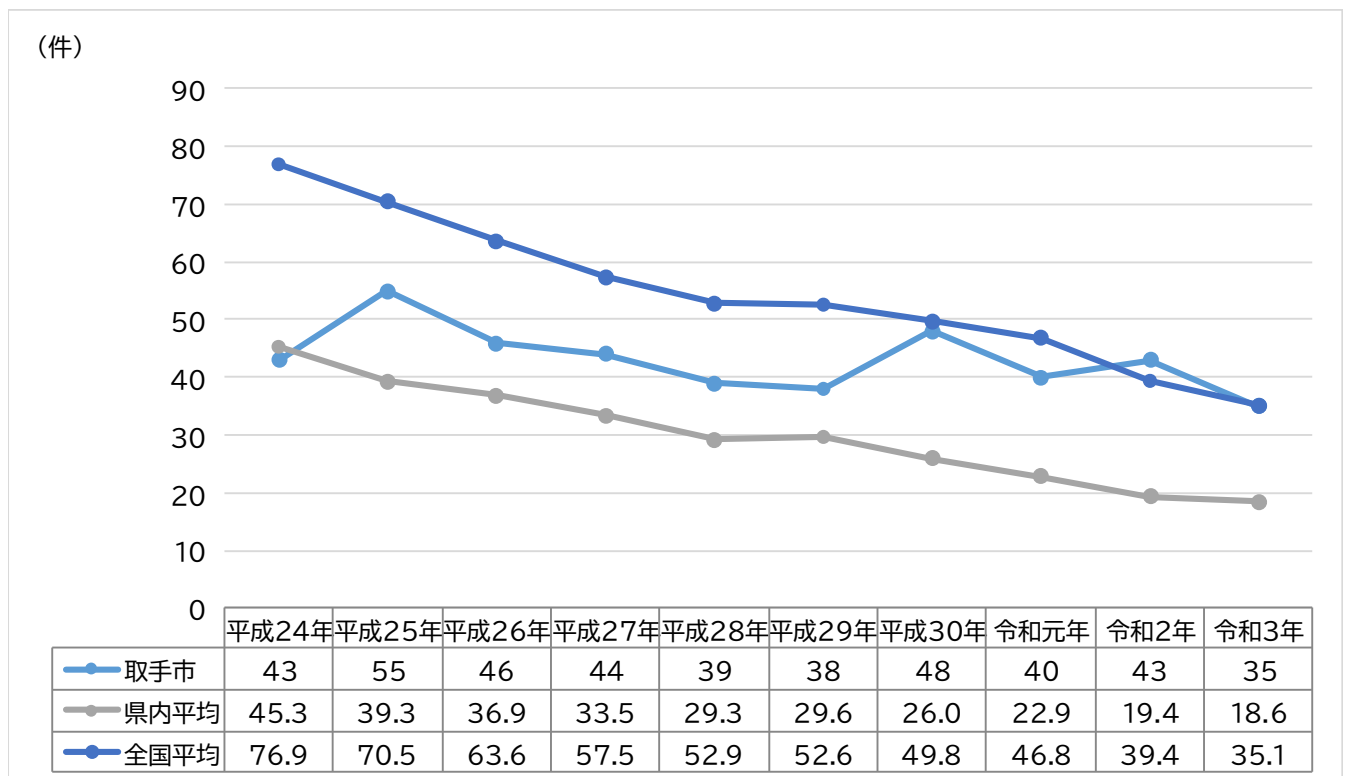
OD は、出発地（Origin）、目的地（Destination）の略語。

(2)公共交通の状況

当市の主な公共交通は、電車(JR 常磐線、関東鉄道常総線)、路線バス、コミュニティバスとなっています。また、首都圏との往來の主な公共交通は電車(JR 常磐線)であり、1時間に片道7本から10本程度運行されています。上野駅と取手駅間の所要時間は約40分であり、首都圏からの来訪者の他、市民の通勤や通学にも多く利用されています。

(3)自転車事故の状況

市内の自転車事故の発生件数は、直近10年間でやや減少傾向にあるものの、県内平均や全国平均と比較すると減少幅が少なく、自転車の安全対策が課題となっています。



出典:警察庁データベース、茨城県警察「交通白書」より作成

図 2-1.3 自転車に関する交通事故の発生件数

(4) 自転車関連施策および資源

① CST(サイクルステーションとりで)

取手駅西口前にある、将来的に幅広い用途での使用も意識した自走式の駐輪スペースと、機能性に優れた機械式を組み合わせたハイブリッド駐輪場です。自転車873台(機械式456台、自走式417台(うち原付80台))を収容できるようになっています。



② 取手緑地運動公園・利根川サイクルステーション

取手駅から徒歩5分の場所にある、利根川の河川敷を利用した約45haの面積を誇る運動公園です。公園内にはサイクリングロードがあり、市営レンタサイクル施設では県内でも珍しいタンデム自転車(2人乗り)や電動アシスト付自転車、子供用キックバイクを無料で利用できます。



③小堀(おおほり)の渡し

利根川を渡る観光船(とりで号)として親しまれており、対岸は取手小堀地区と千葉県我孫子市につながっています。乗船定員は12名(令和4年11月現在、コロナウイルスの影響で定員は8名まで)で、自転車および原動機付き自転車(50cc以下)は1人1台まで無料で積載可能となっており、サイクリストにも好評です。



④取手競輪場・サイクルアートフェスティバル

茨城県内唯一の県営自転車競技施設であり、場内では競輪関連施設のほか、トリックアートやバリエーション豊富なグルメが堪能できます。また毎年11月には「サイクルアートフェスティバル」が催され、競輪選手との触れ合いや、フリーマーケット、物産展、豪華景品がもらえる模擬レース等、家族で1日楽しむことができるイベントです。



⑤春のとりでクリテリウム(取手緑地運動公園)

取手緑地運動公園で毎年春に開催される、茨城県自転車競技連盟・サイクルロードレース協会主催の自転車競技大会で、未就学児から上級者まで幅広い年代で参加ができます。クリテリウムとは、自転車競技・サイクルロードレースの一つで短距離で舗装された道路などを周回する競技です。



⑥茨城シクロクロス取手ステージ(小貝川リバーサイドパーク)

小貝川リバーサイドパークで開催される、茨城シクロクロス事務局主催のオフロードで行われる自転車競技大会です。ナショナルランキング対象レースとして、全国・海外からも参加する選手がいる大会であり、地元の飲食店等も数多く出店し、賑わいをみせています。



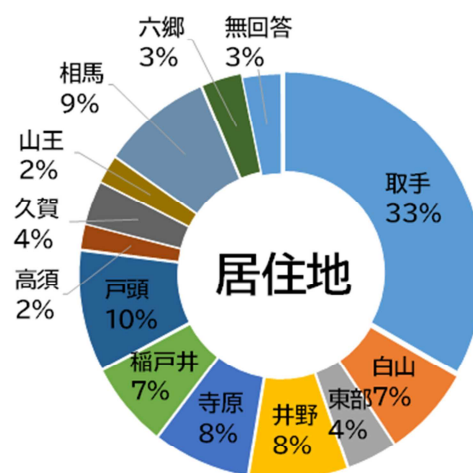
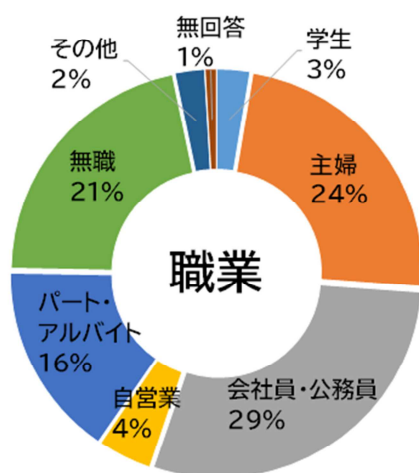
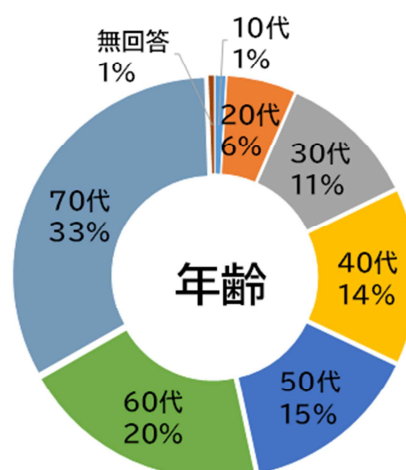
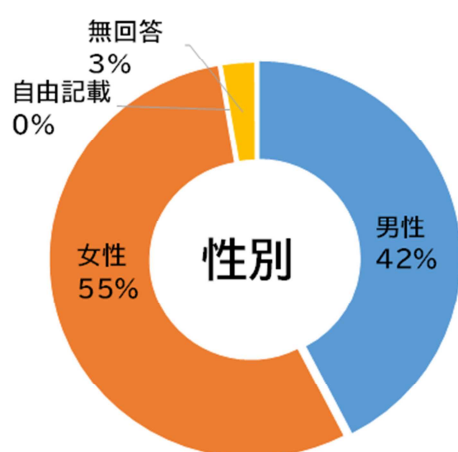
2.2 市民向けアンケート調査結果

(1)市民アンケート

1)調査の概要

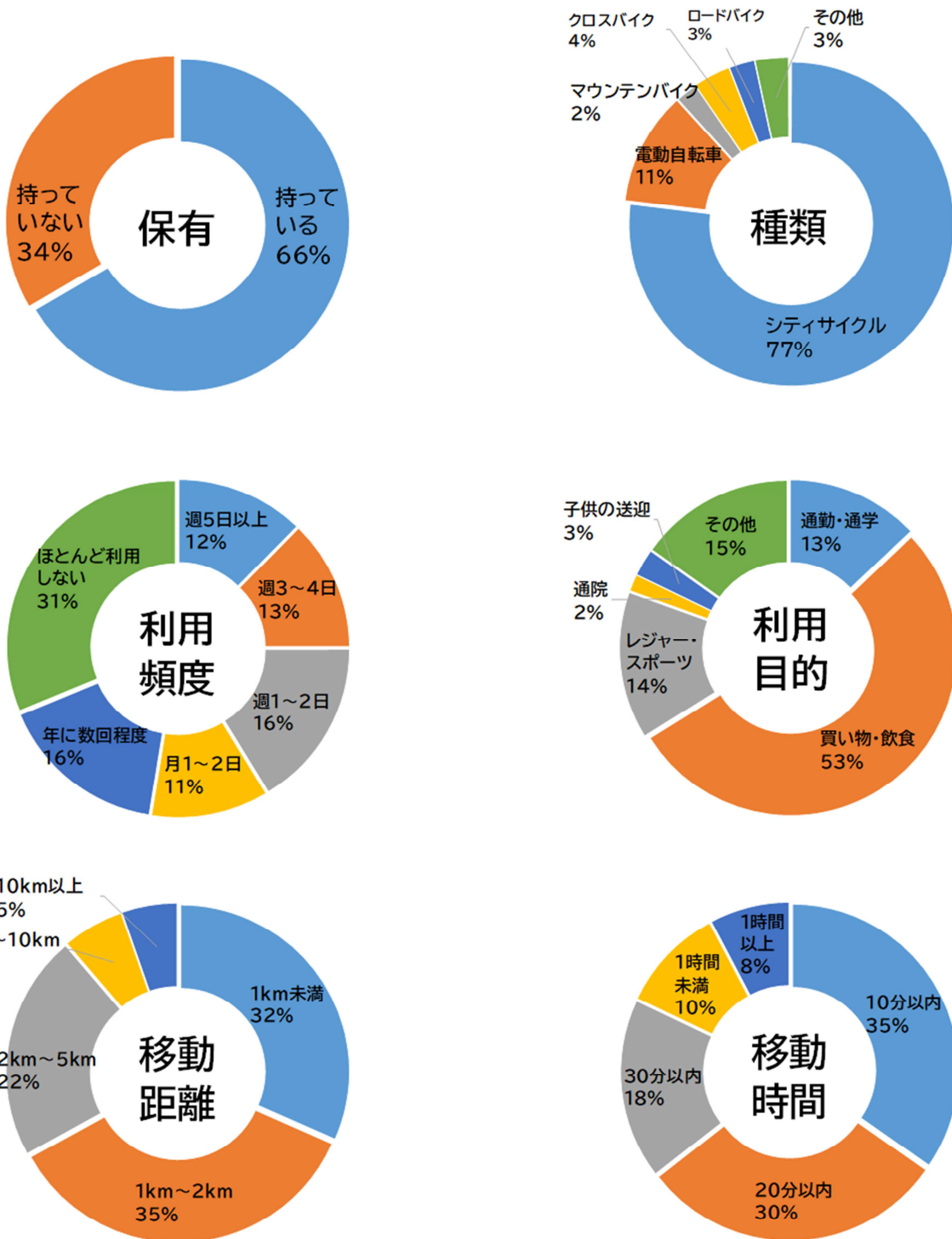
項目	
調査対象者	18歳から80歳までの市内在住者 (令和3年6月1日時点で取手市に住民票を有する者)
抽出方法	住民基本台帳より無作為に抽出
調査期間	令和3年7月7日(水)～令和3年7月30日(金)
回答状況	配布数:2,000 回答数:765 回収率:38.25%

2)回答者の属性



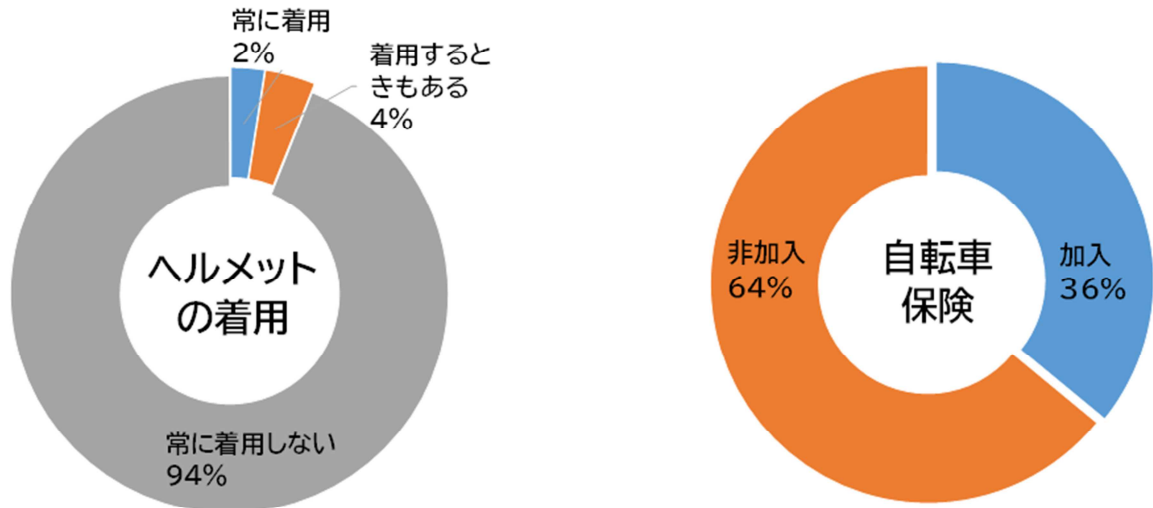
3) 自転車の利用状況

自転車の保有率は66%と半数以上が自転車を所有しており、所有する自転車の種類は77%がシティサイクル(ママチャリ等)と回答しました。利用頻度は、週に1回以上自転車を利用する者(週5日以上と週3~4日以上、週1~2日を合算)は41%を占めるも、「ほとんど利用しない」と回答した者が31%と最も多く、利用目的では、「買い物・飲食」が53%と最も多い結果となりました。移動距離は1km~2kmが35%と最も多く、移動時間は10~20分以内の短時間の利用が65%を占めました。



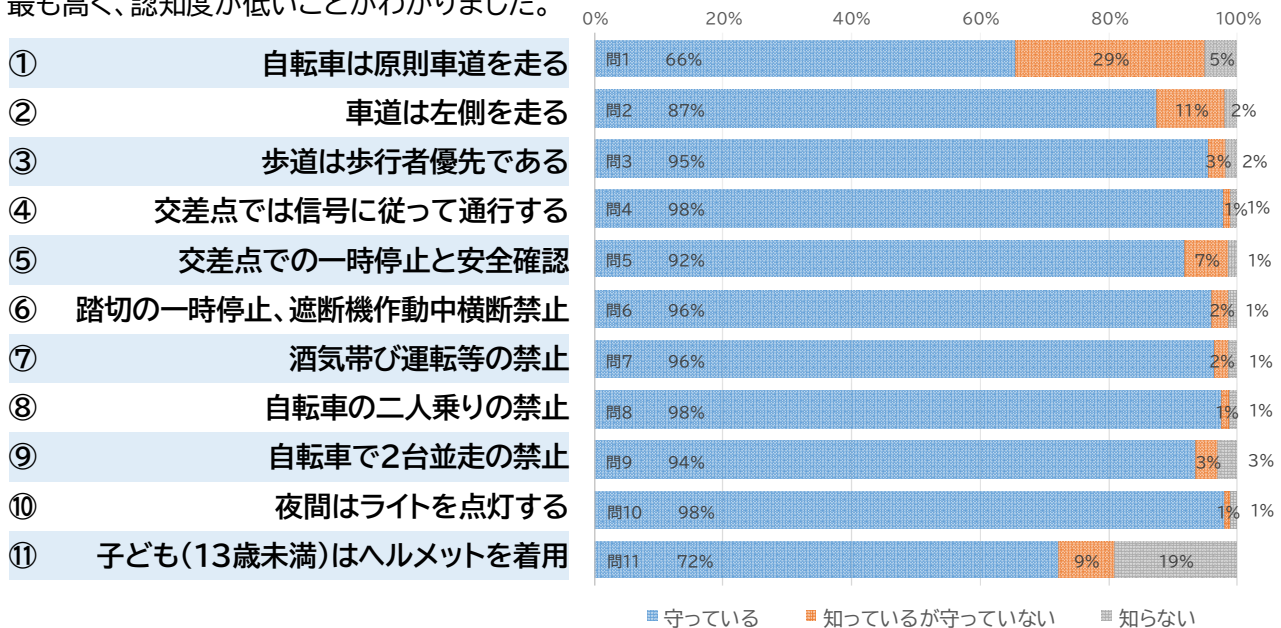
4) 自転車利用時の安全対策について

ヘルメットの着用は、事故発生時に頭部を守る有効な手段ですが、「常に着用しない」が94%を占め、多くの方が着用していないことがわかりました。自転車保険は、運転者本人のみならず、被害者の救済の観点からも加入が求められており、「茨城県交通安全条例」においても加入に努めることとされています。しかしながら保険の非加入者が64%にもものぼることがわかりました



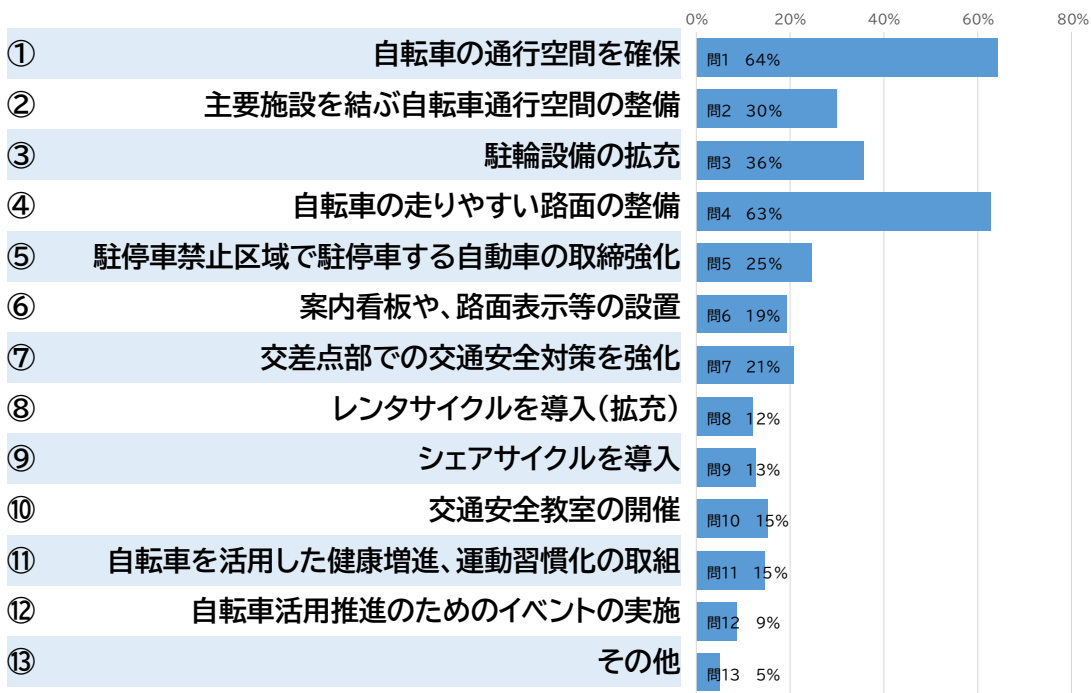
5) 自転車の交通ルール等について

交通ルールについて、多くの設問で認知し守っているとの回答が得られました。しかしながら、①の「自転車は原則車道を走る」について「知っているが守っていない」が29%と、他と比較して非常に高い結果となっています。次いで、②車道は左側を走る、⑤交差点での一時停止と安全確認の「知っているが守っていない」の割合が高くなっています。⑪「13歳未満のヘルメット着用」については、「知らない」との回答が19%と最も高く、認知度が低いことがわかりました。



6)自転車の利用促進にあたり特に必要と思われる施策

①自転車の通行空間の確保が64%と最も高く、次いで④自転車の走りやすい路面の整備が63%、③駐輪設備の拡充が36%、②主要施設を結ぶ自転車通行空間の整備が30%と、自転車の利用環境の整備を求める声が多くなっています。その他では、⑤駐停車禁止区域で駐停車する自動車の取締強化が25%、⑦交差点部での交通安全対策の強化が21%と、交通安全対策を求める声も寄せられています。



【その他の意見】

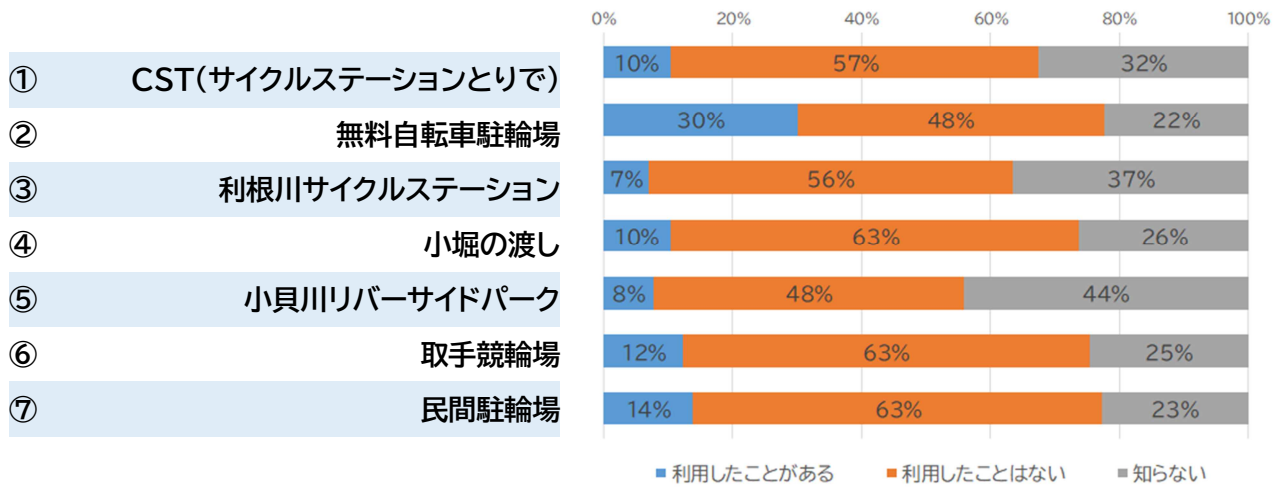
- ・とても路面が悪く、案内看板や路面表示がわかりにくい
- ・駅前などに魅力的な施設の誘致
- ・近隣市町村と連携したサイクリングロードの策定・路面等の整備
- ・高齢になってなるべく自転車に乗りたくないが、日常の食料品の買い物が多くなって運ぶために使用している。
- ・高齢者の方が交通マナーが悪い。歩道を通して歩行者にベルをならすなど車道の逆走、高齢者向けの教室を開催してほしい。
- ・今は自転車を持っていないけれど自動車免許返納後には、保持も考えています。
- ・今年いっぱい自動車運転免許証を返納する。取手は坂が多いのでエンジン付き自転車を購入したい。補助金を出してほしい。
- ・最近取手に引っ越してきましたが、道が上り坂が多く、細い道のお店などおとずれる機会がないので自転車を活用したサイクルイベントがあると良いと思います。(スタンプラリー等を含む)
- ・児童通学路での自動車交通規制(速度や乗り入れ)
- ・自転車が走りやすい道を増やす事はもちろんですが、障害者の方が乗っている電動車が走りやすい道が必要だと思えます。
- ・自転車の右側通行の取締、急な横断の禁止の呼びかけ
- ・自転車は子供から老人までだれでもどこでも歩道でも道路でも走れる。車とかバイクは免許がないと乗れ

ない。自転車にも免許を考えてみては。

- ・自転車は斜めに横断したり、左右どちらかに曲がるかわからず危険が多いのでそれを解消できるもの
- ・特に高齢者が、自転車を軽車両と知らずに走っている。
- ・子供の交通安全教室を学校等でやる
- ・自転車教室、安全教室が必要。レンタサイクル導入であればそれに見合った整備等が必要。ぜひお願いします。
- ・自転車専用道路の確保
- ・自転車販売するときルール本とセットで売る
- ・自動車運転免許証を持っていない者の自転車通行ルールが不足です。
- ・車と自転車の分離
- ・車道を走るにあたり、走行幅が非常に狭い。
- ・取手は坂道が多いので自転車は不便。特に年齢の高い人には
- ・取手市は坂が多いので電動自転車のレンタサイクルがあればいいと思います。
- ・守谷市の「幸福の路」は素晴らしい、我孫子市の手賀沼周辺道路は理想
- ・小・中・高にて上記のルールの教育。罰則の周知、取締。
- ・小さい子供が安全柵で囲まれた広い空間、遊び場所
- ・小貝川の土手道はサイクリング道となっており、子供も含め多くの人に利用されているが、オートバイ等が入ってくるので大変危険。安全対策を望む。
- ・小中高での交通安全教室
- ・信号を増やす
- ・駐輪場の値段を安くして自転車通勤通学の利用増加を促す
- ・電動アシスト自転車購入への補助金(理由:坂道が多いため)
- ・土浦のりんりんロードの様なものをつくるとか
- ・幼稚園から中学生まで車とは運転とはどういうことかを含めて授業としてやるとよい。横断歩道を含めて車道を横切るときは渡る少し前から必ず分かりやすく手を上げて渡ることを教えること。※手を上げないで歩道に立っていても渡りたいのか渡りたくないのか判断がつかないので意思表示をはっきりとするように教えて欲しい。
- ・車を運転している側から見える、自転車の危険性を伝えてほしい。
- ・自転車購入費用、修理費用の補助
- ・交通安全教室は学校と各自治体の集会所でもやってほしい
- ・歩道を走る自転車の取り締まりまたは指導及び夕方～夜間のライト点灯取り締まり
- ・大人のための初心者向け自転車の乗り方講習をやってほしい(この辺だと都内しかやってない)

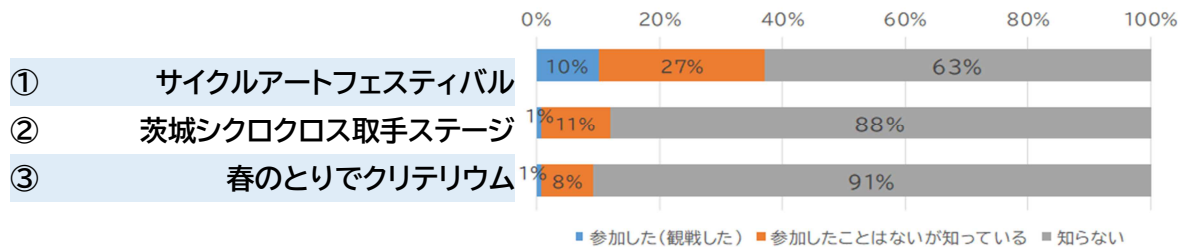
7)取手市の自転車関連施設について

②「無料自転車駐輪場」は30%の回答者が利用経験があると回答していますが、その他の施設の利用経験は10%前後であり、多くの方は「利用経験がない」もしくは「知らない」と回答しました。



8)取手市内で開催されるイベントについて

①サイクルアートフェスティバルは、37%の回答者に認知されており、そのうち10%は参加経験がありました。対して、②茨城シクロクロス取手ステージや③春のとりでクリテリウムは、競技という性質上、参加観戦者は1%程度で、認知度も低いことがわかりました。



9)自転車に関する自由意見

1	40代 女性	<p>・戸頭～稲戸井の294号線の歩道が狭すぎる。通行も怖い、信号待ちをしているときも、走る車が近すぎるし、一台信号待ちをしていると歩道をふさいでしまい、通行の妨げになる。しかし、線路側からの雑草が伸び放題で、狭い歩道をもっと狭くしており、自転車がよける場所さえなく、大変困っていると共に命の危険さえ感じている。雨の日は、水もかけられることあり。</p> <p>・294号線高井小入口の信号は、ゆめみ野の人口が増え、右左折で利用する人が増えているのに、車線も押し信号も信号待ちの時間も昔のまま。とても危ない。時代の変化と共に行政が調べて改善していくべき！</p> <p>・294号線たいらや～ジェイソン間の交差点、踏切を交えた交差点なのに、ここも昔のまま何も変わらない。いつも危険だと感じる。稲戸井～新取手間が栄えないのは、道路の整備が著しく遅れ、劣っているためだと思う。県道、国道、管轄は違うと思うが、呼びかけ改善するのは必須では？</p>
2	60代 女性	<p>・健康維持のため自転車で移動しようと思っています。取手市は坂道が多いため、アシスト自転車を利用しています。寺原～白山前～取手駅まで初めて走った時、道路のデコボコばかりでなく、歩道がせまいなど道路全般について考えてしまいました。とても危険を感じました。</p> <p>・必要な施策の設問について、すべて必要と思われませんが、何よりもまず、普通に走れて安全に走行できる環境が一番大切だと思います。安心して自転車に乗れて初めて取締りの強化やレンタサイクルの導入、安全教室を開催するなどが考えられると思うのですが。</p>
3	50代 女性	<p>無料で藤代駅の自転車置き場を利用できることはありがたい。小貝川の堤防上の自転車道の整備は進んでいると思うが、ところどころ迂回をしなければいけないところがあり、連続的な整備を望む。</p> <p>近年自転車利用での観光地化を取手も進めていけば魅力あるまちづくりができるので期待する。自転車にかぎをかけて止められるような休憩所等の整備。自転車で転ばないような舗装。段差を極力なくすなど。</p> <p>提案として、自転車はパンク、故障の心配があるので、サイクリングロード沿線の自転車屋と修理の提携をしてそれをアピールする。自転車の鍵をかける場所や飲食をすることで困ることがあるので、修理と飲食をできるところ、購入できる場所をサイクルマップに入れるなど。</p>

4	60代 女性	<p>①車道と歩道(兼自転車道)との間のセメントブロックが段差をつくっているため、自転車車体・タイヤに衝撃を与えるため、スムーズに走れない。ブロックを排除し、境目のない路面にしてもらいたい。</p> <p>②車道に比べ歩道(兼自転車道)の路面があれどおり、車道(県道を含む)の路面もアスファルトの轍・ひび割れ・凹み・小ジャリ、ガラス破片のあるところが多く有り、整備してもらいたい。</p> <p>③車道上に自転車通行帯のカラーリングを施してほしい。交差点近くで、自転車が通れる幅員がない箇所が多く危険です。</p> <p>④夕方～夜間の無灯火自転車が、人を追い抜く時のベル鳴らしをせずに通り抜ける自転車が非常に多く危険です。教育と指導、検挙が必要と思います。</p>
5	60代 女性	<p>自転車を利用していません。車を運転していて、事故にならなくてよかった事は多々あります。左側に走っていると思ったら急に車側に接近する。信号無視。駐車をしようとしたら突っ込んでくる。歩道を利用中、ケータイをみながら当たられそうになりました。本人は運動神経が良いと思っているのでしょうか。自転車に交通ルールがあることを子供の頃から学ばせて行って欲しいです。</p> <p>取手市は競輪の街なので、自転車をアピールして行って、楽しい街づくりをできないのでしょうか。競輪場のイメージを明るくして、自転車で街おこしを、と思いました。自転車を走る所が危険がいっぱいなら、マナーから学んでいくしかないのかな。</p>
6	40代 女性	<p>車道・歩道のどちらを通行するべきか標識等で区別はしていると思いますが、わかりにくい。車道走行されている時は車で横を通る時はとても怖いです。</p> <p>車道で安全に自転車が走行できる幅が保てないなら走行許可するべきではない。車道も歩道も狭い場合もある。法改正する前にきちんと道路幅の整備をして欲しかった。事故があってからでは遅いと思います。</p> <p>自転車が急に歩道から車道走行に変更する時はウィンカーも何もないので車を運転しているとドキッとします。自転車が急に車の前を横切るのもやめて欲しい。車道走行している老人が競技用自転車でフラフラしているのはこわいです。</p>
7	60代 男性	<p>龍ヶ崎市管轄の佐貫西口交差点、双葉地区から利用する時、橋が狭く、自動車の通りが多く、子供を駅までの通学に自転車を利用が大変危険で利用させることができなかった。双葉地区住民の生命線の道路、橋なので、龍ヶ崎市と連携して安全な生活道路にしたい。</p>

8	<p>70代 女性</p> <p>・カスミ、藤代庁舎前の交差点 郵便局の方から福祉センターに行く際に、高校生の下校の時間にぶつかり、青信号でこちらは1人、庁舎の方から集団で10~15人来るわけですが、中にはおしゃべりしながら横を向いて縦列、横列一斉に自転車に乗ったままワラワラ渡ります。</p> <p>・小島工芸の鉄道ガード下 学生が自転車横3列ぐらいでかなり飛ばして走り、私も自転車で左側のはじによっていましたが、ハンドルをにぎっていた右小指がこすられ何日も痛い思いをしたことがあります。</p> <p>・自己安全のため、ヘルメット着用を再確認しました。</p>
9	<p>30代 女性</p> <p>自転車は健康的だし、エコなので良い交通手段だと思うが、田舎で高齢者が多く、スーパーなどまで距離のある地域では、車のような手段の方が良い。荷物を持つことや天気のことを考えると、自転車はバスのように時間を気にする必要はないが、車があるなら車を使ってしまうと思う。</p> <p>ただ子供は、通学などで使用するので、より安全になると嬉しい。無作為のアンケートも悪くないですが、小・中・高校生や通勤や買い物に使う人の意見をたくさん集めて生かしてほしい。実際に乗って走ってほしい。</p>
10	<p>30代 女性</p> <p>自転車ではなく自動車運転時に思うことを書きました。危険だと感じることには変わりなく、たまに自転車に乗る際でも、指摘箇所として記入した場所の道路は使用しません。それぞれが配慮しあって通行しているので、大きな事故が起きたのは見たことがないが、小さな子供でも安心して通行できる道路が増えればより一層多くの自転車利用者が道路を利用するのではないかと思います。</p> <p>また、坂道がとても多いので電動式のレンタルサイクルがあれば便利だと思いました。</p>
11	<p>70代 女性</p> <p>只今80歳近くなり車を使っています。15年前位までは自転車を毎日使っていた者ですが、自分にとっては車の方が安全。車を使う者からすると自転車のマナーが守られていない。信号が赤でも3台位(小学生)で横切り、車が止まっていることをいいことに、通り抜けていく事をよく目にします。自分が自転車に乗らなくなったら、自転車を乗る者のマナーが守られていないことがよくわかります。自転車はヘルメットもかぶってないので、充分気を付けて欲しいものです。</p>
12	<p>50代 女性</p> <p>昨今、道路を色分けし、人・自転車・車がそれぞれの領域を侵すことなく安心して事故のない街づくりが増えてきました。取手市においても、住みよい街づくりの一環として、是非更なる市民の安全・安心のためにご尽力願いたいです。</p> <p>この時期(~夏にかけて)道路に草が競うように生え、それが歩道にまで伸びている箇所も増えてきましたので、個人でも美化に協力を惜しみませんので、市民と一体になりよりよい街づくりをよろしくお願いします。</p>

13	40代 女性	<p>本来は、自転車専用道路を希望します。難しいと思いますので、狭い道路でも、自転車走行、参考ライン、歩道ともにカラーで分けてみる事で危険が回避できたらと思います。</p> <p>中学生の自転車通学(永山中)が多いので、事故を防ぐ整備(道路)をお願い致します。不審者、事故が多いので最近では「スクールバス」を要望した方が良いかもしれません。自転車での安全な通学が確保できない時「スクールバス」を希望します。</p>
14	60代 女性	<p>以前自転車を利用しておりましたが、車道を通行する事は危険を感じる事が多く今は車を利用していません。自転車通行空間を確保していただければ自転車で最寄り駅まで行くかとも思いますし、何より高齢(70才位の方を)の方がお買い物で利用している様子を度々見受けますので、ご本人ドライバー共々、安心、危機管理の必要があると思います。</p>
15	70代 女性	<p>意見ではありませんが、ロードを発見し楽しんでます。小貝川土手にあるサイクリングロードを最近散策していて知りました。私のお気に入りです。自転車で行動できたらどんなに良いかと思いました。</p> <p>現在77歳になります。家族からは自転車は危険だからと言われ断念し、最寄りの土手まで送ってもらい、左岸右岸を歩き、バス停まで歩き、そこから自宅近くまで乗車します。自転車には乗れませんがロードを歩いて楽しんでます。</p>
16	70代 女性	<p>自動車免許を返納して、自転車を利用するのが増えました。毎日のように利用しますが、道路はまだ車優先で次に歩行者、自転車利用者には冷たいと思います。車に乗っているときは、自転車は怖いと思っていましたが、いきなり進路変更、自転車にのる様になると、音が聞こえずらく(うしろから車の音がきこえない)身体がかたくなったのか、首が回りにくい(うしろまで見えない。)荷物が重くてハンドルがとられる。</p>
17	70代 男性	<p>取手市周辺の市町村では守谷市内が一番サイクリングしやすいです。街自体が新しいこともあるでしょうが、主要道路の路側帯がかなり整備されています。地形的にアップダウンが少ないことやハイキングコースの案内パンフレットが充実しており、それらをつないで走るサイクリングは楽しいです。</p>
18	50代 女性	<p>自転車での生活が主になっていく社会であれば、高齢化社会、環境問題にもメリットが大きいと思うが、商業施設などは大型店舗が殆どで、住宅地に近いわけではないので、自家用車の利用が主になってしまう。地方再生、活性化のためにも地元産業・商店街を復興させてほしいと思う。どこかのタイミングで何かが変わり望ましい良い方向に向かっていくことを切に願う。取手市に住んでよかったと思いたい。</p>
19	70代 男性	<p>自転車の通行方法で50歳以上の人は左側通行をよく守り走行していますが、小中高の学生や50歳以下の人達は交通ルールを知らないのか、平然と右側通行をしている。車と衝突しそうなっているのをたびたび目撃しているので学校や広報版などでルールの周知の徹底をお願いいたします。80歳以上の人も自転車に乗りフラフラの状態で行っているのを目撃しているので安全教育をお願い致します。</p>

20	70代 男性	車を運転する立場から、いつも気になるので一言。交差点で左折をしようとしている時、特に信号が変わる寸前に横断歩道に左側からかなりのスピードで走り込む自転車に出会います。かなり気をつけていますが、「こわかった!」と思うことがたまにあります。自転車が歩道を走って良い取手では、横断歩道での自転車のルールがはっきりしていないように思います。はっきりした指導をお願い致します。
21	30代 男性	区画整備が全国的に出来ていない状況で自転車のルールが認知されているのが問題。車と違い自転車は免許も必要なく乗れるため、自分が一番という人間が多いと感じる。
22	60代 女性	なぜ「いま」自転車活用計画なのですか？(環境？高齢化？) 市内は高低差もあり、また道路も自転車が安全に通れるところは限定的と考えます。通学に自転車を利用している高校生をみかけますが、公共交通の便が悪いからでしょう。自転車活用の目的は健康？観光？目的を明確にしてすすめるべきでは？計画達成のためにはハード的な「まちづくり」も視野に入れる必要があるかと思います。
23	70代 男性	自転車はだれもが安易に乗れる(運転できれば免許無で)交通手段であるが、多くは2輪であり常に転倒事故はつきものである。スピードはさほどなくても重大事故になることもある。利用者はこのことを十分認識して利用することが大切である。 車も同じであるが、被害者と加害者が同居していると言う事を十分認識すべきであり、自転車は安全だ、ではなく危険がつきまとうことである。
24	50代 女性	車道に自転車が通行しているのは、車を運転している人にとっては、自転車のふらつきや、接触する恐れがあるため危険を感じられます。歩道で自転車と歩いている人に接触するのは、車道と同様に自転車も歩く人も左側通行にしてないからだと思います。左側通行にお互いしていれば、歩いている人を危険なく追い越すこともできると思うので道路交通法自体を考え直すべきだと思います。
25	60代 女性	取手市の自転車活用は日常生活では地形的にとっても難しいと思います。しかし、自転車を観光に活用することはできると思います。小貝川、利根川に囲まれ豊かな自然と近代都市が融合したまちだから。また、東京、千葉に近い。「トカイナカ」としての魅力と歴史的に古いまちですので。ただ自転車を活用したまちづくりを進めるのであれば自転車道の整備は必須だと考えます。
26	40代 男性	利根川、小貝川沿いのサイクリングロード、クリテリウム、シクロクロス、競輪等自転車に関するイベントや環境はそれなりにあると思いますが、あまり自転車に乗らない人には知られていません。 もっと上手にアピールして取手の活性化につながればよいと思います。またサイクリングロードに休憩のポイントを充実させるとよいと思います(売店または自販機の設置を)。

27	30代 女性	<p>車に乗らない自転車運転者が多くいるのを感じている。車運転者視点で自転車に乗らないと、お互い危険であると思うし、共存することができないと思う。車利用者が多いので、お互いの気持ちを理解して運転する必要があると思う。狭い道路で自転車を先頭に車が詰まっている場面をよく見たりするので、車は自転車に対してよくない印象になっていしまうのはもったいない。</p>
28	70代 男性	<p>自転車に限らずであるが、原付バイクや車で走っていても井野団地周りの道は凸凹で、それを避けるために自動車はもとより車類がはみ出して走行しなくてはならず危険。他の道路についても言えることだが、予算のことがあって修復できないのではれば、せめて穴だけでも埋めて欲しい。係の方、ご多忙であろうが一度自転車や小さいバイクで道路を走って感じて欲しい。</p>
29	60代 女性	<p>地方であるためかわかりませんが、自転車を移動手段とすることのみに終始しておられるように拝見いたします。学生さんたちの自転車の使い方(重い荷物や雨の日の対策)や体に与える負担の大きさを思いますと、他の移動手段のこともお考えになられるのも良いかと思えます。</p>
30	無 無	<p>利根川添いのサイクリングロードが途中途切れる。 キャノン裏から約1kmまた舗装も途切れいずれも改良を検討してほしい。せっかくの自然環境の中、心身の健康増進に向けてインフラの整備が第一、取手市のPRになるのでは。P.S アンケート者に選出いただき感謝します。健康維持のため小貝川&利根川堤防を週3回娘が通学に使っていた自転車で走っています。</p>
31	70代 男性	<p>自転車は気軽にだれでも利用できる点で大いに活用すべきであると思いますが、安全面を考えても道路の整備がなされていないので残念です。例えば山王地区から取手方面に行く(病院、買い物、役所等)場合、本当に危険な道を利用するしかないのです。誰もが手軽に活用できる自転車道路の整備が大切です。イベント等はその後でも良いはずです。</p>
32	70代 女性	<p>学生(小中高)の自転車乗りのマナー指導を学校で毎年やってほしい。グループ(4, 5人)で乗っている場合、スマホ見ながら乗車してる場合、注意不足が多い。(交通安全指導かもしれませんが)。原則車道乗りが規則ですが、歩道を人が歩いていなければ、身を守るためには歩道乗りの方が安全なような気がします。身を守るために自分は乗ってます。</p>
33	60代 女性	<p>いつも車ばかりで自転車は乗りませんが、利根川サイクルステーション、小堀の渡し、小貝川リバーサイドパークはぜひ利用してみたい。 ですが、近年自転車と人との接触事故が多いらしく交通ルール・マナー等を守っていない学生を見かけると(車で通勤中いきなり前方に飛び出したり)交通安全教室は年に数回、小学生~高校生は必須だと思います。</p>

34	40代 女性	高齢化が進み歩行者も足元がおぼつかない方々が多い中、自分の子供達にいくら保険をかけていても自転車での通学はもしものことを考えやめてもらっている。自転車だけの車道があれば親の立場としては安心して利用させることもできる。自分としては取手に坂が多いので、乗る気になれない。こればかりは行政うんぬんの問題ではないです。
35	70代 男性	自転車は肉体的にも精神的にも使用する人に健康をもたらしてくれる物だと思います。自動車の利用を少しでも減らすことに少しでもつながれば、CO2発生減にも連動します。 そのためには、何よりも道路の整備(自転車多用時代到来を前提とした整備)が重要です。ユーロ(特に西ヨーロッパや北欧)の国々の取組みを参考にしたい。
36	40代 女性	車道を安全に走行している自転車がほとんどです。車幅が狭い所は歩道を走行していますが、それでも歩行者に注意してくれる方々ばかりです。そんな中でもたまに車道を右側通行していたり、高齢者のフラフラ運転、周囲を確認せずに自転車での横断を見ると、交通事故がおきないこと、起こさないことを願い、注意して生活しています。
37	60代 女性	自動車免許証返納後には電動アシスト自転車の購入を考えています。孫達(7.6.4才)も自転車に乗って農道(車の通りが少ないと時)通って遊びに来ます。小学生向けの正しい自転車の乗り方指導教室等もこれから必要と思います。体力作りとエコの目的で自転車も楽しみたいです。交通ルールも昔とは違うので事故保険も大切です。
38	30代 男性	・普段自動車を利用して、危険な乗り方をしている自転車を見かけることがありヒヤッとします。自転車の安全な乗り方やルールを学校などで分かりやすく学んだり、知ることができる機会や情報(チラシやネットで)を見ることができると増えたいです。 ・駅周辺にシェアサイクルを導入する案に賛成します。
39	60代 女性	免許もいらず手軽に利用できるだけに傘を差したまま利用したり、登下校で通学に使う時も一時停止せず飛び出したり路上に迷惑をかえりみず放置したり・・・クレーム上げればきりがありません 小さい時からマナーを身につけさせることが大切だと思います安全教室も実施されているとは思いますがご指導お願いします
40	30代 女性	駅の近くの駐輪場を学生の時から使用しているが、新しくするのはいいけど月額料金も高くなってしまっている。そこしかとめる場所がないので、利用しているけど、もう少し安くしてほしい。通勤の行きも帰りも駐輪場が混んでいるので時間がかかるのも改善してくれると助かります(サイクルステーションを利用中です)
41	30代 女性	小学校では自転車の交通安全教室を実施してくれているが、自転車での交通ルールを守っていなかったり、ふらふらと危険な運転をしているのは高校生や、高齢者が多いと感じる。 高齢者は後ろを確認せずに道路を横断していることが多く、車を運転する身としては、気をつけてはいるが、非常に怖い思いをすることが多い。

42	30代 女性	自転車の活用は環境保護の観点から大いにしていくべきだと思うが、同時にルールの周知徹底や厳守も進めなくてはならないと思う。自動車と違って子供も自由に乗れるため、学校での交通安全教室の開催を頻繁に行ったり、大人に対しても何らかの講習を受講させるなど、活用推進と安全確保の両立をしてもらいたい。
43	40代 女性	自転車で車道を走るのは結構怖いので、自転車専用歩道を確保できたらと思う。また、歩行者専用のところを自転車で走っている人を多く見かける。歩行者優先なのに、自転車の人が我が物顔で通ることがある。歩行者がいたら、自転車を降りてほしい。高齢者の傘差し運転は危険。やめさせるための工夫を考えたい。
44	50代 女性	ライトをつけずに走っている人や並んで走る人は危ない。道が狭くて自転車が走る道がない。子どもたちも急に飛び出したり、危ないことをするので子ども達にも自転車を正しく乗ることを教えてあげてほしい。いくら車がきをつけていても急に飛び出されると止められないと思うので、よろしく願いいたします。
45	20代 女性	自分はほぼ乗ることがなく、車で運転していて自転車の人危ないなと思うことが多いです。①学生の2~4列走行、②車道へ出る際に後方から来る車を各院しないでそのまま走行する、の2点をほぼ毎日感じています。自転車運転者のマナー向上、通行する人が多い道やスクールゾーンの道幅拡大が必要かと思います。
46	30代 女性	車道の道幅がせまく、スピードを出す車も多いため、自転車を活用するメリットより安全な車を選びがちなのがあります。自転車で出かけた所(スポット)は点と点としては点在しているため安全に訪れるハード面が必要かと思います。土浦で勤務していますが、土浦と取手の違いはここにあるかなと感じました。
47	50代 女性	車の運転が危なくなった高齢者が自転車に乗ろうとしたら道が悪いし、坂が多いから電動でないとこげない。車にしたならそれも危なっかしくて困る。道路が見通しが良くて、どこぼこしていなければ、車も自転車も安全に走行できるので、道路はただ広くするのではなく、見通しや使いやすさを重視してほしい。
48	40代 女性	自転車の乗り方を守ることができていないのに、自転車を利用促進は難しいのではないのでしょうか。小学生等車道を自転車で走るのはあぶないので歩道を走ってもいたしかたないとも思っています。ぶつかりそうな時も多々あります。まずはルールを周知することから始めればよいのではないのでしょうか？
49	70代 女性	私は歩きで買い物しています。自転車の人でマナーを守っている方もいますが、狭い歩道を後ろから追い抜いて行く場合もあり左のひじを痛かった事があります。マスダからヤオコーへ行く細い道でした。自転車は車道をきちんと通って欲しいです。取手の道は歩行者より車の方が通りやすいしくみかな？
50	60代 男性	自転車は気軽に利用できる移動手段です。それだけに交通マナーの遵守が必要だと思います。自動車を運転していると自転車は左右確認や一時停止を怠っている人が多く見られます。多分、何の運転免許をもっていない人なのではないかと思います。そうした人の教育の場が必要に思われます。

51	50代 男性	自転車というよりサイクルスポーツと書きたいところですが、競輪とか距離を競うものという勝負事ではなく、もっと自由なもの、例えば自転車と風景、自転車と暮らし、自転車とマイファミリーなど。動画、写真、日記などで多くの人々と交流できるところが取手にもあればいいと思います。
52	60代 女性	自転車に乗りたいと思っています。60代になって多分20年以上乗っていないのに今後乗るにはどんな自転車を買ったら安全に乗れるのか知りたいのです。今まで仕事と介護で忙しかったのが終わってしまったので、安全に楽しく健康のために参加できるものがあったら取り組みたいです。
53	70代 女性	歩道で自転車も通行可能のところが多いが、歩行者とぶつかって、こちらがけがしたときでも車のようにナンバーがついてないので、逃げられてしまう可能性が大である。高齢者で骨折したことがあるのでこわいです。自転車は車道通行を徹底してほしい。安心して歩道を通行したいです。
54	40代 女性	最近、特に自転車に乗る人のマナーが悪すぎます。歩行者と同じだと思っているような気がします。危険な運転をしている人を見つけたら、自動車同様容赦なく止めて注意なり取り締まるなりして欲しい。老いも若きも関係なくです。活用推進には警察との連携が重要だと思いました。
55	60代 女性	自転車の利点は沢山あり、私はもちろん家族もよく利用しております。車を運転する立場になると車道を走っている自転車の方で時々スピードを出して追い越すときに怖さを感じます。お互いの為にも自転車利用する方のスペースが広がるとよいと思います。道幅を広げてほしい。
56	70代 女性	歩道を歩いている時、自転車がスーッと横を走り抜ける時、びっくりします。人の横を通る時、ベルを早めに鳴らしてください。わたしは怖い思いを何度かしたことがあるので、必ず自転車に乗って人の横を通る時は早めにベルを鳴らし、すみませんと声を掛けるようにしています。
57	60代 女性	自転車の通行空間の整備、確保が必須。年齢と共に自転車に乗る機会が増えてくると思うので安心して乗るために、車を運転する時も自転車が走っていると危ないなあと思う時があるので。風を切って気持ちよく健康のためにもっと自転車を利用したいのでよろしくお願いします。
58	70代 女性	宮ノ前ふれあい公園の土手の砂利舗装(アスファルトと等)。歩行者はとても歩きづらく危険だと感じた。利根川沿いサイクリングロードに抜けられる河川敷内の細道の砂利と凹凸の整備(戸頭神社前から入る。つつじ園裏から入る。宮ノ前ふれあい公園先の土手から入る細道)。
59	40代 女性	取手市は坂が多いので、安直ではありますが電動自転車の補助があると、少しは普及する助けになるかと思います。メイン道路以外、狭い住宅街の道路では施設に駐輪場があっても、途中の移動が大変と思われれます。ミラーの確認や車を運転する側への案内も必要だと思っています。

60	50代 女性	自転車利用は全くなく、これからもないと思われます。買い物に行くのに車で10分近くかかるところが一番近い。アンケートに答えられるところがなくすみません。普段自転車利用している高校生、中学生等の通学に関して危険と思われる運転や場所は多々ありますが…。
61	30代 男性	取手市は長きに渡り自転車競技を培ってきた歴史と文化があり周辺地域から多くの来客者を招いている一大イベントある。このようなご時世で大規模なイベントや施設利用を制限することは一定の理解を示すが根幹を灯すことを消すような事態となってはならないと思います。
62	50代 女性	車道を走行する高齢者感覚が鈍く、端に寄る事が出来ずに走る。年寄りだから「言う事をきかないからしょうがない」ではすまされないはず。高齢者の自転車のマナーは最低です(一部ですが)。免許返納で自転車に乗る方も多いと思います。ルールをきちんとして下さい。
63	40代 女性	無料自転車駐輪場を活用させて頂いています。無料で本当に助かっています。ありがとうございます。自転車だけの問題ではないのですが、R294が取手に入った途端、一車線になってしまいます。交通量も多く、事故も発生しているので、二車線の検討をお願いします。
64	70代 女性	私は何年も前から自転車に乗っていませんが、自転車に乗る人たちは良くマナーを守ってほしいです。特に自分たちと年齢が同じくらいの方が。私は井野団地に長く住んでいるのですが、認知症とわかる方が自転車に乗っていて何度もぶつかってきて本当に危ないです。
65	40代 女性	道路を広くするなど登下校時の児童が(中学生)自転車で登下校できる範囲を広げられたらいいと思います。人が少ない地域で徒歩での通学は働いていて送迎できない保護者にとっては心配で、安全に自転車で通学できる環境整備が進んでくれることを願っています。
66	50代 女性	茨城国体で久しぶりに競輪場に行きました。イベントで一般の人もバンクを走れる時もあったので、若い時にチャレンジしておけばよかったと思いました。競輪というイメージが強いのもっとスポーツとして注目されるといいのと思います。
67	50代 女性	先にも記入しましたが自転車で車道を走るのが怖いです。国道6号線など車が多い道路で横を自転車が走っていると車を運転していても怖いです。歩道が広ければゆっくり自転車で歩道を走行したいです。車道を走行することで事故などおきてないでしょうか？
68	70代 女性	私は70代後半で同年代の人は自転車に乗らなくなった人もいます。買い物に行くときに乗るくらいですけど気をつけながら乗っています。道路とか走りやすいようにといっても現状維持で仕方ないと思いますので。乗る人が十分気をつけることだと思います。
69	30代 男性	NHKBSテレビの『こころたび』を視聴していると「歩道を走らない」「交差点の一時停止」などルールを守っての自転車通行のお手本だと思う。車を運転しているとルールを守らず、自転車に乗っている人が多い。スマホ見ながら危険な走行の人もいる。

70	60代 男性	シクロクロスのような競技性のあるものよりも、一般の人が気軽にサイクリングコースに出られるようなイベントがあれば良いと思います。小貝川サイクリングロードを毎日走っていますがとても良いコースです。休憩ゾーンなどもあったら良いですね。
71	50代 男性	取手駅の東口方面から井野団地やヤオコー方面は車道が狭く、自転車で通るのが危険なため道路整備を希望します。(学校も多いため)また、県道229の常磐線・桑原陸橋付近は直線でスピードを出す車が多く、自転車は危険と感ずることが多い。
72	70代 女性	自転車は車道を走る。とはわかっているが、ふれあい道路の歩道を江戸取の学生さんが通学で平行しているのは安全から考えたらしかたないと思います。後からくる車のスピードには恐怖を感じます。(自分の孫だったらと考えてしまいます。)
73	40代 女性	・子どもの自転車教室の情報などがあれば周知してください(広報など) ・国道294号が自転車で通行しにくいので、国に整備をお願いしてください。 ・利根川土手を切れ目無く走れる自転車道があれば、自転車を趣味にしてみたいです。
74	30代 女性	桜の季節にふれあい道路を通ると最高です。ふれあい道路のキヤノン取手駒形門～取手中央タウン瑞法光寺付近の道路は桜の根っこ??が道路をもりあげていてガタガタです。坂道でスピードも出やすいので、ガタガタしていると倒れそうになる。
75	60代 女性	・若い人のケイタイを持っての片手運転 ・傘をさしての片手運転 ・スピードの出しすぎ ・確認なしの飛び出し ・二列走行
76	70代 男性	中学生(藤中)が帰るとき、平行に並んで自転車を走らせている。自動車を通る時につく。学校で指導していると思うが、話に夢中になると危険である。時には巡回して(先生、指導者)見ることが一番良いと思う(目で確かめる等)
77	70代 女性	国道沿いに建っている家のところが、車が入れやすいようになっていますが、そのところどこに何か目につくような印をつけていただけたら、私が体験してしまった事故につながらないのではないのでしょうか。取手の町は全体的に暗すぎます。
78	70代 女性	高齢になり、現在は自転車の利用はありません。歩道を歩いていると当然のように自転車を通り、横によけたり止まったりさせられます。また、車道を逆走する自転車も多く見受けられます。ルールを守るための安全教室は必要と思います。
79	70代 男性	自転車には乗らないが、車道を自転車が走っているとヒヤヒヤする場面をよく見る。もっと車と自転車がすれすれにならないように道路を整備するかガードレールなどを設置してもらえないと、どうしても歩道を走ってしまうと思います。
80	60代 女性	自転車は車道を走るという事に反対です。6号とか車が多い道路を自転車が走らず歩道を走った方が安全だと思います。ましてや、自転車のマナーは最悪です。スマホをしながら乗っている人の多さは取り締まるべきだと思います。

81	70代 女性	歩道や土手を歩いている時、音もなく猛スピードで走り抜ける自転車に何度も遭遇しており恐ろしいです。私は、若い頃は自転車に乗っていたが、駅へ行くにも道路の状態が悪く、車の免許を取得してからは30年位乗っていない。
82	60代 男性	利根川河川敷において利用するサイクリング車のスピードが歩行者にとって大変危険です。スピードを取り締まるか、対策を考えてください。歩いていて走っていて何回も危険な目に合い、ぶつけられて逃げられたこともあります。
83	60代 無	自転車の方のウィンカー昔ルールで右折は垂直に右手、左折は左手をのばす。自転車の教室で教えていただきました。これを是非とも自転車のドライバーさん達に徹底していただけるだけでも事故が少なくなるかと思っています。
84	70代 男性	40年前には自転車を使っていましたがその当時と今では交通量が格段に違い車側、自転車側のマナーの悪さがよく目につきます。他人の善意だけでは安全は守れない世の中になっている気がします。安全は自分で守るしかない。
85	70代 女性	後期高齢者となり車の運転をやめようと思っているので、ますます自転車が必要となります。294号線を自転車で走れたら有難いと思いますが、まだ危険な場所が多々あり、実行できていません。改善して頂けたら有難いです。
86	40代 女性	中学生のカップの色を変えた方がいいと思います。夕方は見えづらく危険です。確か牛久市は白だと思うのですが、素晴らしいと思いました。危険な場所ですが、毎日乗っている中高生に聞くのが一番情報をもらえるとと思います。
87	30代 女性	・自転車道を広く確保してほしい。 ・夜道、車を運転しているとき、歩行者や自転車がみえづらいため、何らかの対策があるといい。 ・自転車で歩行者をひいてしまう事故もあるため、学校では自転車教育も力を入れてほしい。
88	50代 女性	コロナが感染拡大により、通勤手段として自転車がふえているように体感しています。自身も転職により2年ほど前からトレーニングを兼ねて朝雨が降っていなければほぼ毎日自転車です。走っていて一番怖いのは段差です。
89	70代 女性	自転車は小回りがきいて大変便利な乗り物であると思います。世の中の人全部が善人ばかりではなく常識のない人が居ますので私の家でも自転車の盗難の被害がありましたので、使用する時でもその点が心配の一つです。
90	60代 女性	自転車専用レーンの整備をすることによって違法運転も減るし安全に走行できるので利用車が増えると思います。私自身、ついつい車に乗ってしまいます。大変だと思いますが宜しくお願い致します。
91	70代 女性	孫達は自転車を利用しております。行動を走る時は十二分に車に歩行者に気をつけるよう話しておりますが、心配です。歩行者、車、自転車ともう少しヒヤッとしたりしないですむような生活が送れたらと思っています。

92	70代 女性	<p><自動車中心の道路の在り方に疑問>まずは人が安心して歩行できることが重要。自転車も専用通行できるようにすること。そして自動車が走れるようにすることを考える。<一般道路での自転車は老人には怖い！></p>
93	50代 男性	<p>体調の都合で止めましたが以前はロードバイク(自転車)に乗っていました。取手市は小貝川の自転車道等恵まれた環境です。それを道路拡張やルール啓蒙を行い、より多くの方に楽しく利用していただきたいです。</p>
94	70代 女性	<p>なるべき自転車を利用するのをやめたいと思っている。自転車に変わる交通手段がコミュニティバスだと思うが、バスの本数が少なく、駅から歩くか、タクシーの利用をすることが多い。増便の検討をしてほしい。</p>
95	40代 女性	<p>子供に自転車の練習をさせたいと思ってもそれに適した公園がないように感じます。住宅街の車道でそういった光景を時々みかけ危ないと思いました。子供が安全に楽しく自転車が乗れる場所があったらと思います。</p>
96	70代 女性	<p>自分も歩道を歩いていて急に横を通り抜けられ、びっくりした事があります。(何回も) まだ、右側、左側が皆さん勉強不足だと思います。私も2回、自転車で転び骨折しました。今は安全運転に心がけてます。</p>
97	40代 女性	<p>無料で貸し出ししているサイクルステーションを利用させていただいた際、電動自転車がもう少し多いといいなと感じました。久しぶりに乗りましたが、とても気持ちよくまた利用させていただきたいです。</p>
98	60代 女性	<p>自転車は車道を走ることにはしていますが、294は道が狭く6号は車が混んでいるので怖く歩道を走ってしまいます。ふれあい道路みたいに歩道に自転車と歩行者通れるようにわけてあるといいと思います。</p>
99	40代 女性	<p>自転車に乗っている子どもやお年寄りのマナーが悪い。子どもは学校で教室等があるが、大人用の自転車教室を開催し、ちゃんとルールを理解していから乗ってほしい。自転車の取り締まり強化してほしい。</p>
100	70代 女性	<p>子供の自転車の乗り方を指導した方がいいことがあります。急にスピードを出したまま道路に出てくる。一時停止をしないとあぶない。いつ車が通るかわからないのでひやっとした時が何度もあります。</p>
101	30代 男性	<p>車を運転している時にT字路から小中学生が止まらずに出てくる姿を良く見かけます。子供向けに学校のイベント等で定期的に自転車講習を実施してほしいです。(もちろん大人向けにもお願いします)</p>
102	60代 女性	<p>車道を走行するのは怖いので、つい歩道を走ってしまう。(車と一緒に怖い) しかし歩道は段差があるので、気をつけないと危険。(転倒しそうになる)できれば段差をなくしてもらえるとうれしい。</p>
103	70代 女性	<p>便利な乗り物だと思います。坂が多くちょっときついですが近くの際は利用するようにしています。スマホ運転も気になります。事故が起きないように皆笑顔で過ごせますようよろしくお願いします。</p>

104	30代 男性	私は自転車を利用していませんが、自転車を利用している人たちのマナーの悪さが目立つ。歩行者と同じ行動をしている。自転車の何らかの措置が必要かと思う。事故があってもおかしくない状態。
105	70代 男性	(1)自動車運転中、学校の校内から集団で自転車が飛び出した時。(2)歩道と車道を話しながら並走している時。上記については自動車の運転者は常に危険を感じています。学生の指導をお願いします。
106	40代 女性	ゆめみ野周辺は歩道が狭い。車道も狭い。なので、歩行者・自転車・自動車が接触しそうでこわいと思うことがありました。子供達の急なとび出しも多い地区だと思えます。公園も多くあるので。
107	50代 女性	自転車が車道を通行することは知っていますが、自転車が通行するようにきちんと整備されてない道ではかえって車道をとると良くないと感じています。車道は自転車に走ってほしくないです。
108	70代 女性	まだ車を使用してますが、数年前自転車に乗る機会がありました。下りの時危ないと思いき、車を乗らなくなったら「自転車を」と思ってましたが、自転車も乗らないようにしようと思ってます。
109	60代 女性	自転車にも自動車のようにナンバープレートを付けた方が時々乱暴な走り方をしている人がいるのでもし当て逃げされたら誰だか分からないので。でも、取手市だけではむずかしいですよ。
110	60代 無	永山中学区の前道路が狭いのですが、学校の部活の帰りに二列に自転車を走らせている時があります。道路が狭い上に二列走行はとても危険です。学校でも注意をお願いしたいと感じます。
111	70代 女性	自転車は非常に便利で健康にも良いので利用度が高いです。安全のため歩道を守る場合が多いですが、歩道と車道の段差があるので走りにくいと思います。ぜひ、なくしていただきたいです。
112	50代 女性	狭い車道に車と自転車が並走して危ない場所が多い。 坂道が多いためスピードを出してくる自転車がいる。 小中学生が、道に広がって話しながら自転車に乗っていることが多く危ないと思う。
113	60代 女性	小学生が安心して乗れる道路になるといいと思います。車が多いので歩道乗って人が来たら下りる。自転車はその時、車道側を通るように孫に言ってしまう。もちろんヘルメットも！！
114	70代 女性	マイカーを足代わりに利用するようになってから、最近ほとんど自転車に乗らなくなりました。でも、自転車に対する規則等はきちんと守っております。(時々乗るとき)
115	40代 女性	自転車に乗っている方の乱横断が気になります。普段は車に乗っているのですが、井野団地やマスダあたりは特に横断歩道がない所で車を気にすることなく渡る人が多くいるので怖いです。

116	50代 女性	せっかく緑豊かな土手もあるので、もう少し自転車を楽しむイベント等周知させた方がいいのでは？小文間までのサイクリングロードも気になりますが様子がよくわからないので…
117	60代 女性	怖くて車道など走れない。(命がけ状態)片側 3m程度の車道で時速 60~80km 走る車の横で時速 10k程度ママチャリで走るのが恐ろしくてほとんど自転車に乗れなくなった。
118	70代 女性	私は自転車には乗りません。代わりに車を運転しますが、よく自転車の方が急に横道から出てくる時、反対側の一方しか見ないで走ってくるが多く見受けられます。怖いです。
119	60代 男性	・色々な種類の自転車を試乗できる施設があるといいと思う。 ・自転車を乗りながらのスマホ利用(ながら運転)を禁止するための活動(啓発・取り締まり等)をさらに強化する。
120	50代 女性	自転車の乗り方、その他学校また市の方で徹底して指導しなければ、子供たちの事故、小さなお子様を乗せた親、暴走が止まらないと思います。事故が起きてからでは遅い。
121	50代 女性	小中高生の2列走行をよくみかけるので指導してほしい。また赤信号でも止まらず走っている自転車を見かけた。広い道路に出るときの一時停止、パトロールや指導を願いたい。
122	70代 女性	高齢者(私も高齢者)の道の横断はとても危険。右も左も見ずに横断することが多々あります。道路面がでこぼこで走る時ひやひやです。近所はなるべく歩くようにしています。
123	70代 女性	特に中・高校生のマナーの悪さにおどろく。友人と並走する、スピードのだしすぎ、ルールの無視など。現況の罰則をくわしく説明し、他人も自分も守るという教育をすべき。
124	70代 女性	私は子供の時自転車の右側から乗り降りするよう覚えてしまいました。とても危険ですが、直すことができません。お子様方には正しい自転車の乗り方を教えてあげてください。
125	70代 男性	小さい子供や小学生ぐらいの子達がかかなりスピードで乗っている姿をよく見かけます。曲がり角、車と対面の時大変危険を伴いますのでいい方法で解決策をお願い致します。
126	60代 女性	今回のアンケートは「自転車利用時」であったが、乗らない人を対象にしたアンケートも必要と思います。自転車を持っていないので、回答できない項目がほとんどでした。
127	40代 女性	取手市は自転車の街とPRしていた時期もありましたが、もう少しそのあたりを押ししても良いと思います。河川敷など自転車にとって走りやすい環境も整っていると思います
128	40代 女性	東口の駐輪場に停めているのですが、(一時利用)スタンドを立てないでとめているのですが、帰って来るとスタンドが立ててありいつも自転車が出しにくくて困っている。
129	70代 女性	現在、車で病院、買い物をしているため、自転車は利用していません。免許を返納した場合も自転車を利用する予定はありません。公共の乗り物を利用する予定です。
130	60代 女性	若者が自転車走行中にスマホ・携帯を扱っており、徒歩の私達が危険を感じる。高齢者の方は耳が遠いのか、クラクションを鳴らしても真ん中を走行していたりします。

131	70代 女性	車道を走るのは大変危険。歩道を走行しているが(歩行している人が少ないため)歩行者がいる時は止まるか、降りて待っている。狭い歩道で段差のある所は危ない。
132	40代 女性	車道に自転車専用道路を作るのは止めた方が良くと思います。龍ヶ崎市の中学生の自転車使用時の反射板タスキ着用はうらやましいので、取手市もお願いしたいです。
133	60代 女性	取手市でもイベントが開催されている事をしりました。ぜひ、参加してみたいと思いました。もう少し開催されている事をアピールしていただけるとありがたいです。
134	70代 女性	取手市内は坂が多いので、自転車は坂のない所だけ利用しています。道幅も車が優先になっていますので、こわくてあまり利用しません。(近場の買い物くらいです)
135	50代 男性	整備はもちろん必要だが、その前に自転車のマナーが悪すぎる。スマホ・イヤホン・二人乗り・信号無視・交通ルールを全然守っていない。そちらが先だと思います。
136	40代 女性	・駅や自宅近辺は坂が多いので、自転車を利用しようとは思えません。 ・競技会が開催されていた事を全く知りませんでした。次回は見に行きたいと思いました。
137	70代 男性	コロナ感染が広がっている時に運動不足解消と取手の自然を満喫できるように自転車が走りやすいように整備をして下さい。自転車に優しい街、取手にして下さい。
138	70代 男性	自動車はとばすし、安全に走れる道路が少ないと思います。自動車・歩行者・自転車が安全で快適に通行できるよう道路が整備されていくことに期待しています。
139	70代 女性	重い荷物を乗せる時だけ自転車を押して利用する。普段は乗らない。車道を逆走して自転車に乗る人を少なからず見る。車の方に迷惑ばかりでなく違反行為。
140	70代 女性	環境の事も考慮し近間の買い物などは車を使用せず自転車を利用するよう心がけています。自転車の設置が増えると安心して自転車利用が可能になると思います。
141	40代 男性	道路に自転車の通行帯が色を変える等して確保できる所はあってもいいと思いました。ただ車道の逆走はもっと周知されていいと思います。(右側通行禁止等)
142	70代 女性	20年以上乗っていません(車移動)。回答することが難しく、交通ルール等分かっている点にレ点をつけさせていただきました。協力できず申し訳ありません。
143	40代 女性	ルールが難しくなって、何かトラブルがあると怖いので自転車に乗らなくなりました。たまに利根川サイクルステーションで自転車を借りて楽しんでます。
144	70代 女性	車を運転する者にとって自転車ほどあぶないものはない。自転車にも車同様4輪(自転車専用)の講習を義務づける県と市と協議の上早急にしてください。
145	60代 女性	年を取ってきて、反射神経等衰えてきているのがわかり、自転車に乗る時はスラックスにし、危険と思った道路は降りて押したりと思うようになりました。
146	30代 男性	自転車に乗っても田畑ばかり。自転車に力を入れる前、住宅街と駅を結ぶ交通機関を整備して欲しい。バス便が悪すぎる。車がなければ生きていけない。
147	40代 女性	小学生～高校生の自転車の乗り方がきちんとできていない。販売店なども協力し、自転車の違反等の内容がわかる物を配布した方が良くと思う。
148	40代 女性	自転車の事故が増えてきていると思うので交通ルールを学ぶ場をもっと積極的に作ってほしい。特に子供たちには、わかりやすく説明してほしい。

149	60代 男性	自転車の交通ルールの普及施策の実施。例(小中学校で高校で定期的に行う)、例(シルバーセンター員の活動に指導員として指導いただく)
150	70代 女性	取手駅西口のふれあい道路の歩道です。歩いていると自転車がベルも鳴らさず追い越していく人がいます。気をつけて欲しいと思います。
151	40代 女性	環境にやさしい自転車をもっと利用しやすいように工夫してほしい。健康のためにもなる。駅の近くとか無料駐輪設備を拡充してほしい。
152	30代 女性	車道を走ることは知ってはいるが、そんな幅はないと思う。車とすれすれになるし、トラック停まってるしでどうにもならないです。
153	30代 女性	今はまだ赤ちゃんですが子供が大きくなって自転車に乗るようになったとき、自転車専用の道路が増えていると安心だなと思います。
154	50代 女性	意見ということではないですが・・・取手は坂が多くて、押して上がることも大変で、ここ何年も自転車を利用しなくなりました。
155	70代 男性	不法駐車等改修撤去した自転車がたくさんある様ですが、修理点検して安く売ったらどうでしょうか(広報で販売場所を告知して)
156	70代 男性	車の運転免許の更新時期(本年11月)なので更新せず、健康のため自転車を購入しサイクリングを楽しみたいと現在考慮中です。
157	70代 女性	車に乗っている時、自転車が並走してる時があります。自転車の走る路面があると、どちらもドキドキしないで走れると思います。
158	60代 男性	右側を平気で走っているのをよく見かけます。特に年寄りと学生・生徒。厳しく取り締まって欲しい。違反者には罰則も科すべき。
159	70代 男性	「自転車の交通ルール等」を自転車を利用するすべての人に守ってもらう事が(教育を徹底することが)最も重要であると思う。
160	60代 男性	ゆめみ野駅の駐輪場は夜暗いので、イタズラが多いと近くの自転車屋が話していた。照明を増やした方が良い。ウチもやられた。
161	60代 女性	車で走行中真正面から迫って来る自転車にはヒヤツとします。自転車の走行に関して指導等が必要なのではないかと思います。
162	60代 男性	自転車は歩道ではなく、車道を利用してほしい。ひかれそうになります。(歩行時)少しわがままな自転車利用者が多いです。
163	70代 女性	自転車はできれば車道を走りたくない、走ってほしくない。可能な道路には、自転車道と歩道を分けて白線を引いて欲しい。
164	20代 女性	ライトの無灯火や両耳にイヤホンをつけて音楽などを聞きながらの運転は危険なため罰金や指導をするべきだと思います。
165	60代 女性	自転車は車道と知っているが、自分はスピードを出さず歩道を走っている。車道は車が速く走っているのが恐くて走れない。
166	70代 男性	小学生が歩道を猛スピードで走る場合が散見されるが非常に危険である。小学生に自転車乗車マナーの教育が必要である。

167	40代 女性	自転車が安全に走れる道が少ない。車を運転していても、自転車との接触が怖い。車道、自転車道、歩道があるのが理想。
168	60代 男性	自転車の教習が必要。時折、車道右側を走行する自転車をみかける。夜間に、ライトをつけずに走行する自転車あり。
169	40代 女性	自分でもおどろくほどイベントを知りませんでした！（ごめんなさい） これからは広報紙をよく読むようにします。
170	40代 男性	最近、老人が交通ルールを守らず逆走してたりするけど、それでぶつかったらこっちが悪くなるのは納得いかない。
171	50代 男性	逆走が多いので取締りを多くしてほしい。通りでの無灯火が多く事故につながりそうなので恐ろしい時がある。
172	20代 男性	レンタサイクル、サイクルステーションを増やしてほしい。どうでもいい自転車イベントにお金をかけないでほしい
173	70代 男性	例えば市役所から新取手駅から向かう場合、左側を走らせるにしてもどこを通るか考えてしまいます。
174	60代 女性	取手市に転入したばかりなので全くわかりません。また、自転車は乗らない、今後も乗る予定はありません。
175	70代 女性	自転車の方は大体歩道をどけどけという感じで走って行きます。自転車専用の道があれば良いと思います。
176	30代 女性	自転車での危険な走行をしている方がいるので、安全運転教室の開催など啓蒙活動の強化をお願いしたい。
177	70代 女性	中学生が横に並んで2、3人いつもあぶないと思っています。学校や家族で教えないのでしょうか？
178	70代 無	歩行者、自転車が一緒に通行する場合等では、自転車利用者はゆっくり走り、特に老人や子供に注意する。
179	40代 男性	健康のために今後購入を検討しています。走りやすい車道の整備や安全な取り組みがあれば安心です。
180	70代 女性	「カワチ」付近に住んでいます。車を運転している時、中学生の自転車の並走に危険を感じています。
181	60代 女性	買い物等に利用したいが坂道が多く、車道は車で危ない。（車道が狭い） 自転車が通れる道がない。
182	40代 女性	車道（左側）を走っていて、後ろを見ず横断歩道もないのにいきなり右側に移る行動には驚きました。
183	60代 男性	自転車のみ利用者の交通ルール意識が低く（自分勝手）、危険な場面がしょっちゅうあると思う。
184	70代 女性	自転車利用している方はなにがあってもつき進んで来ます。降りることはしません、困ってます。

185	70代 女性	高齢者で二輪はあぶないので、通行空間が広ければ三輪車を利用したい。車の運転をやめたので。
186	70代 男性	自転車は、なるべく歩道を通行し、歩行者の邪魔になるときは降りて手で押すようにしてほしい。
187	70代 無	高齢者の車道の左側通行、段差があり走りにくそう。(車道の真ん中を走行してる事を多く見る)
188	50代 女性	自転車には乗れないので1度も乗ったことがありません。よくわからないので回答できません。
189	70代 男性	交通量が多く、狭い農道(救急車、消防車まで通行する道路)はぜひなんとかしてほしい。
190	30代 女性	広い公園ではストライダーや三輪車など子供と遊べる自転車の貸し出しがあるといいです。
191	30代 女性	取手市は見通しが悪い道が多いので、広い道がこれから増えてくるといいなと思います。
192	70代 男性	自転車の交通ルールを軽視している人が多いので交通ルールブックを配布したらどうか。
193	40代 男性	取手市内は、あまり自転車の危険を感じない。
194	50代 男性	自転車はホームセンターなどで売っているが、パンクを修理してくれるところがない。
195	60代 男性	取手市内は平らな土地が多いので自転車の利用には、それ程抵抗はないかもしれない。
196	70代 女性	歩道は歩行者優先である。でも自転車優先道路も作ってほしい。安全に走れるように。
197	70代 女性	自転車のルールを守らない方がいるので、自動車と同じくルールを守ってほしいです。
198	30代 男性	自転車を使う時は田んぼの水を見回る時だけで街に出るときはほとんどないです。
199	70代 男性	自転車運転のルールブックなどを各家庭に配り、危険箇所マップ等も入れる
200	60代 女性	自転車に車道を走れというのが道路がせまくデコボコして怖くて走れない。
201	70代 男性	自転車保険の加入促進策を行政として進める必要を感じる(これも時代か)
202	50代 無	駅前の駐輪場を長く利用しているが、駐輪場担当者が細かく注意してくる。
203	70代 男性	マナーの悪い自転車を時折見かける。特に右側走行、急な進路変更が危険。
204	30代 女性	自転車用の路面標示の設置が特に不安。歩道を走る方がしばしば見られる。
205	70代 女性	土手の上をスポーツタイプの自転車でスピードを出して走らないでほしい。
206	30代 男性	自転車の通路を拡幅してほしい。狭いと危ないため、乗る気がなくなる。

207	50代 男性	自転車道の整備(草刈り、自転車走行帯の設置)、一般道の整備(路面)
208	50代 女性	今自転車は車道を走っても歩道を走っても邪魔な感じで肩身が狭いです。
209	70代 女性	年とともに使用頻度が少なくなってきました。お役に立てたら幸いです。
210	70代 女性	できれば車道に自転車通行帯を作ってもらえれば走りやすいと思います。
211	60代 女性	年齢が60になり、自転車で転ぶようになったので乗るのをやめました。
212	30代 男性	市全体で自転車の危険運転が多く見られるので対策をしてほしいです。
213	70代 男性	今は使っていないが昔使っていた。その前提でアンケートに回答した。
214	70代 男性	エンジン付き自転車がほしい。購入費の補助金や貸付金は出ないか。
215	60代 男性	近所に放置自転車をよくみかける。空き家に捨てられているようだ。
216	70代 男性	歩道を自転車で走る時は左側を走る市の条例を制定してほしい。
217	70代 女性	将来的には子供たちの健康安全のため自転車専用道路があるとよい。
218	70代 女性	自転車は車道を走るのがルールですが、せまい道ではこわいですね。
219	70代 男性	保育園、小中学校等で安全教室を多く開催していただければ！！
220	60代 女性	無灯火の自転車や中国人達の二人乗りが目立つようになった。
221	60代 男性	取手は利根川、小貝川を有し自転車の活用が期待大であります
222	60代 男性	近隣の市と連携して。駅にシェアサイクルを設置してほしい。
223	20代 女性	雑草が生えており、自転車同士ですれ違いが困難な道がある。
224	50代 男性	交通ルールを守らない方が多いと思います。(年齢を問わず)
225	50代 女性	取手は坂が多いので、主要施設周辺に電動自転車があると良い。
226	60代 男性	車、バイク、免許保持者は、自転車にも同じ罰をと思います。
227	70代 女性	市内の通学路見直しをする(危険箇所があるか?ないか?)
228	30代 女性	自転車に乗る人もルールを守り、安全運転してほしいです。
229	40代 女性	住みやすい。心あたたかい人々のいる町＝自転車との共存
230	無 無	日本ではまだ少ないが自転車専用道路を作してほしい。
231	70代 男性	道路の右側を自転車で通行する人が見受けられる。
232	50代 男性	自転車に乗る側のマナー、教育が必要と思われる。

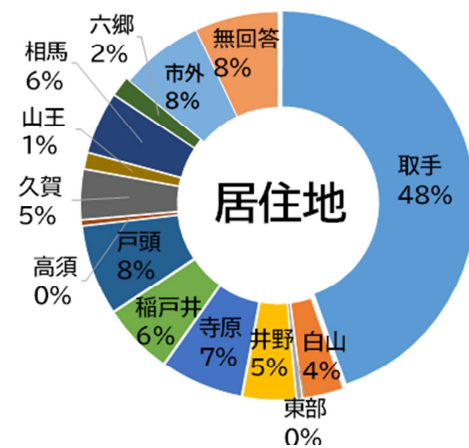
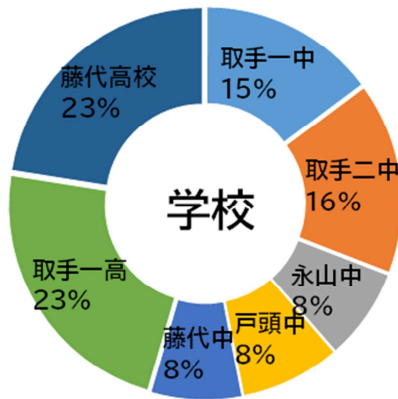
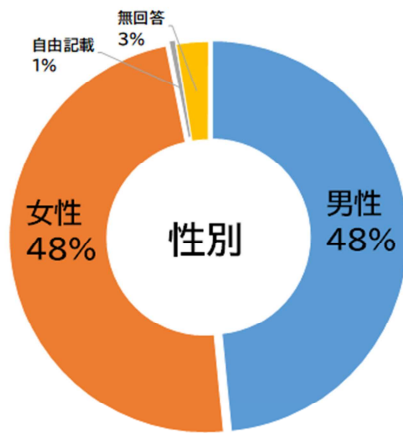
233	40代 女性	自転車が走りやすい道路整備をお願いしたい。
234	30代 女性	取手駅前に無料駐輪場があったらうれしい。
235	70代 女性	取手は坂道が多く自転車は利用しにくいです。
236	40代 男性	ゆめみ野駅の無料駐輪場を拡大してほしい。
237	40代 女性	サイクルステーション平日もやってほしい。
238	70代 男性	自転車を利用する人の安全走行の厳守の徹底
239	50代 男性	自転車を利用する方の意識が低すぎる。
240	60代 女性	294号線自転車専用レーンがあれば
241	50代 男性	全体的に道路舗装が悪く走りにくい。
242	50代 男性	駐輪場マップなどあるとうれしい
243	70代 男性	自転車の走りやすい路面の整備
244	70代 男性	サイクルロードを作してほしい

(2)市内中高生向けアンケート

1)調査の概要

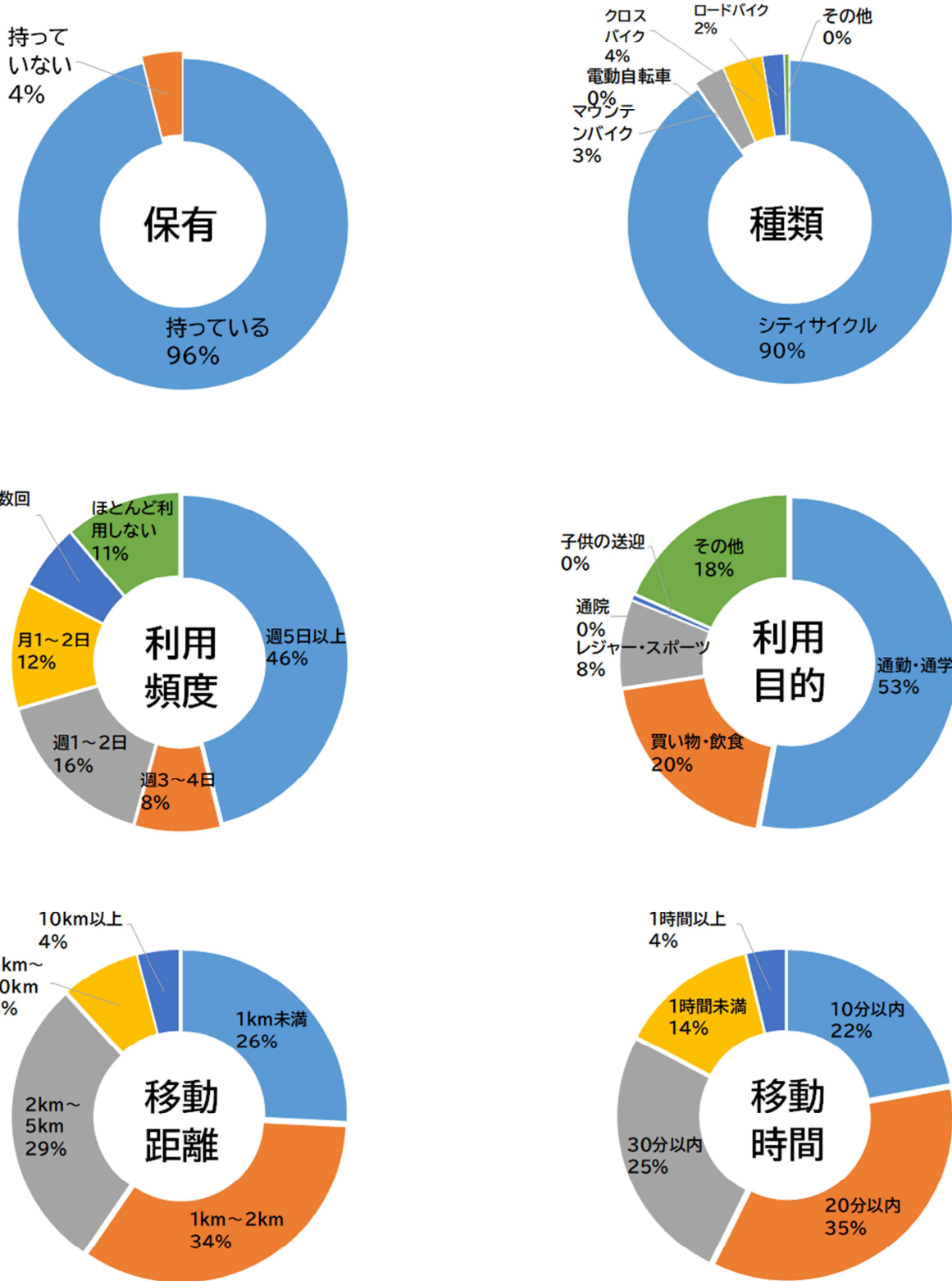
項目	
調査対象者	中学生:市内公立中学校(6校)の1年生 高校生:取手第一高校、藤代高校(2校)の1年生
方法	学校長に依頼し、アンケート用紙を直接持参
調査期間	7月初旬~中旬
回答状況	回答数:1,166 (うち中学:693 高校:473)

2)回答者の属性



3) 自転車の利用状況について

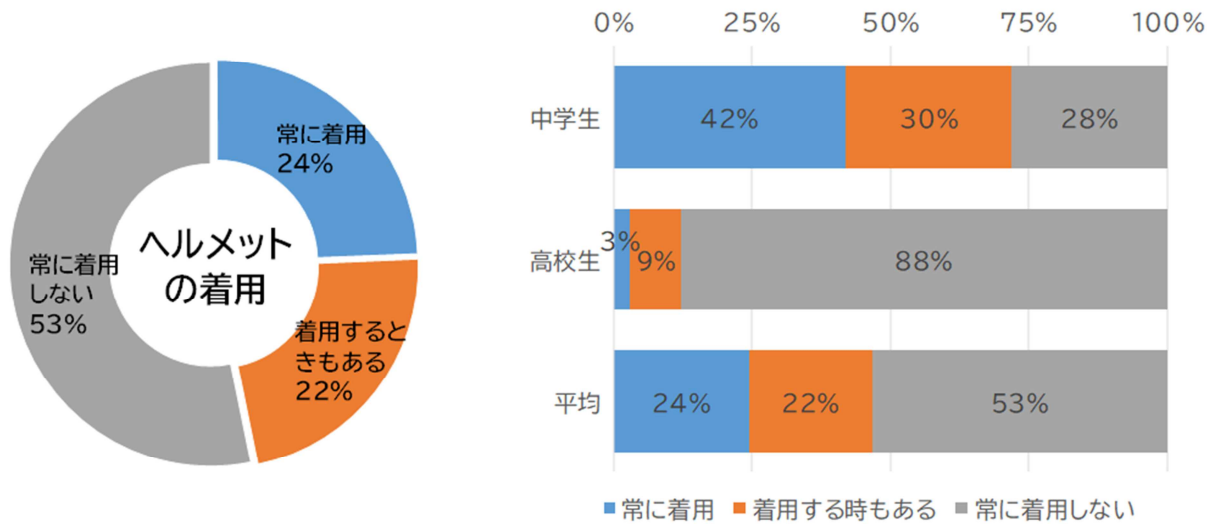
一般市民の自転車保有率 66%に対して、中高生では 96%が「持っている」と回答しており、多くの学生が自転車を利用していることがわかりました。また、一般市民と比較してシティサイクルの割合が高く、利用頻度や利用目的と併せて考えると、日常的に利用している割合が非常に高いと考えられます。



4) 自転車利用時の安全対策について

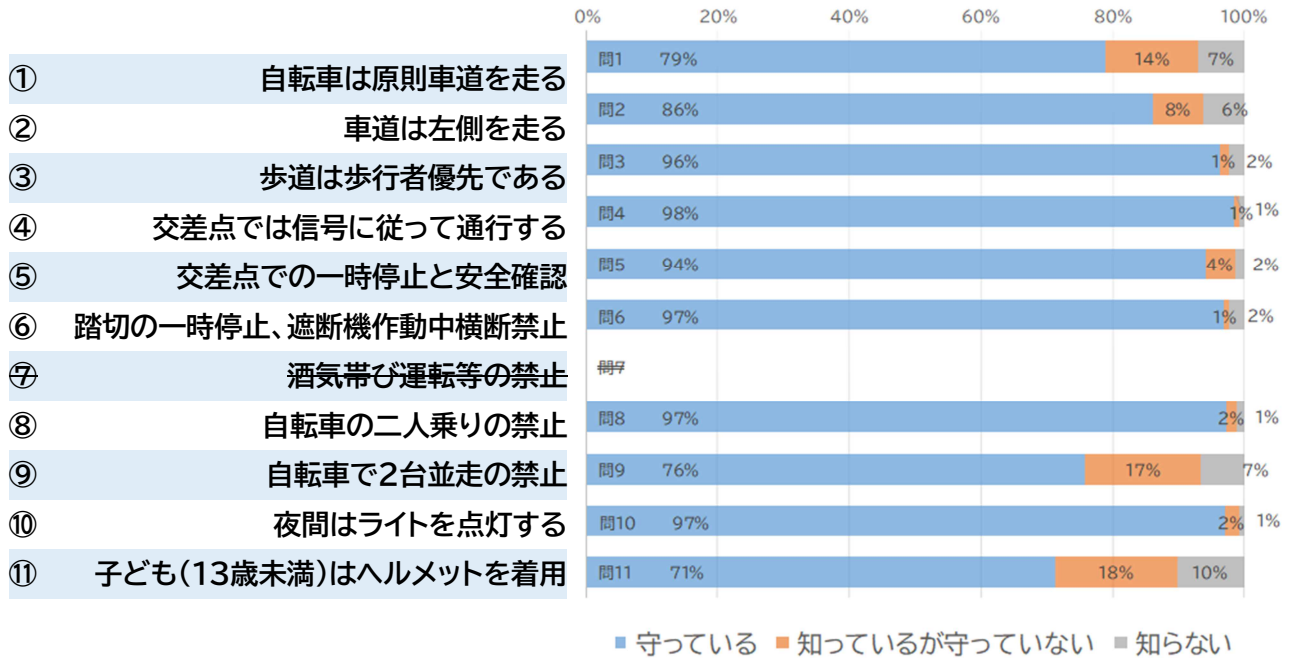
ヘルメットの着用率は「常に着用」と「着用するときもある」を合わせると46%となり、一般市民と比較すると高い結果となりました。特に中学生と高校生を比較すると、中学生の着用率が高く、高校生では大きく着用率が低下し、一般市民との回答割合に差が無いことがわかりました。

自転車保険の加入率は、一般市民の加入率と比較して高くなりました。



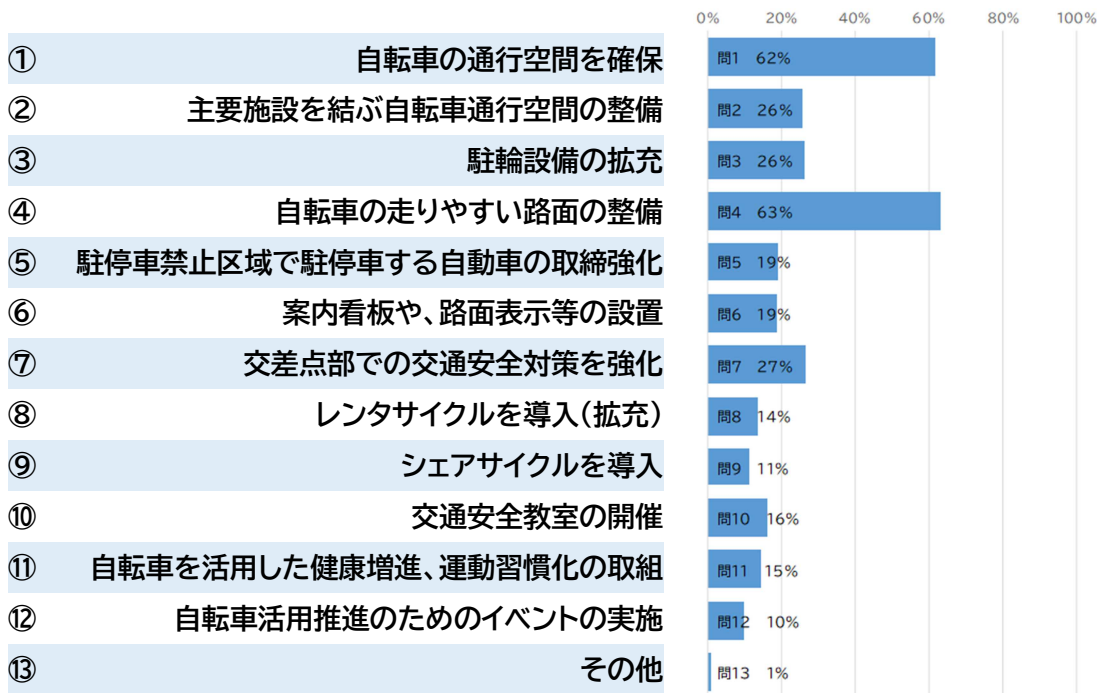
5)自転車の交通ルール等について

全ての項目において、70%以上の方は「守っている」と回答しています。「知っているが守っていない」「知らない」の回答率を見ると、「⑪子ども(13歳未満)はヘルメットを着用」が28%と最も多く、次いで「⑨自動車で2台並走の禁止」が24%、「①自転車は原則車道を走る」が21%という結果となりました。



6)自転車の利用促進に特に必要と思われる施策

市民アンケートと回答の傾向は相似しており、「④自転車の走りやすい路面の整備」が63%と最も多く、次いで「①自転車の通行空間の確保」が62%、「⑦交差点部での交通安全対策を強化」が27%となりました。



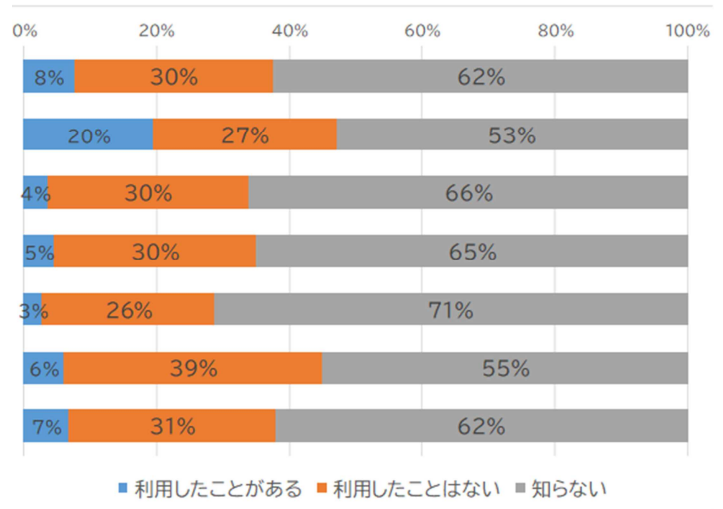
【その他の意見】

- ・学校にいくとき自転車で行ける範囲を広げてほしい
- ・危険な運転を見かけたときなどのための専用電話窓口
- ・子どもが通りやすいところに警察
- ・自転車の無料配布
- ・スポーツ自転車(MTB やロードバイク)の店を増やす
- ・小学生が道の真ん中を歩く
- ・車とすれ違う時にこちら側によってきてぶつかりそうになる。スピード落としてくれない。
- ・カーブミラーなど見やすいようにもっと鏡を置く
- ・道の草や木を刈る
- ・草が全然刈られていなくてとても危ないので、定期的な草刈り

7)取手市の自転車関連施設について

いずれの施設も 50%以上の方が「知らない」と回答しており、認知度が高いとは言えない状況であることがわかりました。

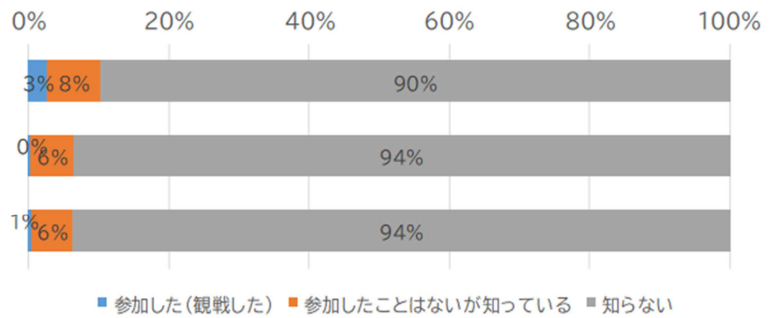
- ① CST(サイクルステーションとりで)
- ② 無料自転車駐輪場
- ③ 利根川サイクルステーション
- ④ 小堀の渡し
- ⑤ 小貝川リバーサイドパーク
- ⑥ 取手競輪場
- ⑦ 民間駐輪場



8)取手市内で開催されるイベントについて

すべてのイベントについて90%以上の方が「知らない」と回答しており、認知度が低いことがわかりました。

- ① サイクルアートフェスティバル
- ② 茨城シクロクロス 取手ステージ
- ③ 春のとりでクリテリウム



9)自転車に関する自由意見

1	中学生	男性	自転車用の道を作って事故にならないようにする。
2	中学生	男性	梅雨の時は地面が湿っているため、急に動くと事故になるから気をつける。
3	中学生	男性	ヘルメットをかぶるとかぶらないのでは、全く違うのでヘルメット着用は絶対。
4	中学生	男性	気をつけて安全に乗ることが大切だと思います。
5	中学生	男性	階段の横にスロープを作ってほしい。歩道がないところを少なくしてほしい。道が狭いところを少なくしてほしい。
6	中学生	男性	スピードがおそい
7	中学生	女性	荷台の荷物を固定するゴムがよくきれて車輪にからまって危ない。スカートが長すぎて絡まりそう。
8	中学生	男性	自転車のタイヤを太くしてほしいのと、もう少し安くしてほしい。
9	中学生	男性	道がボコボコな所が多いので直してほしい
10	中学生	女性	自転車の色をもっと増やしてほしい。(蛍光色などの色を一般的な自転車に増やして欲しい)
11	中学生	男性	中学生になったらヘルメットはつけなくても良いと思う。
12	中学生	男性	道を広くする
13	中学生	女性	もう少しカーブミラーを設置してほしい
14	中学生	女性	歩道に人がいなかったら通ってもいいですか？
15	中学生	男性	チャリンコも車やバイクと同様に免許を取ってから乗るという制度をつくるべきだ。とても危ない。
16	中学生	自由 記載	無料の駐輪場をもっと増す
17	中学生	男性	自転車だけ走れるスペースを作ってほしい
18	中学生	男性	自転車用スペースを作ってほしい。草がたくさんあって自転車で通る時邪魔なので切ってほしい。
19	中学生	女性	全ての横断歩道に自転車専用のスペースを作ってほしい
20	中学生	女性	ヘルメットをかぶっていない人がいるので、ヘルメットをかぶっていません。ヘルメットはやはりかぶらなくてはいけないのでしょうか。
21	中学生	男性	車が通る車道、人が歩く歩道があるなら自転車が通る自転車道を作ってもらいたい。

22	中学生	男性	マウンテンバイクがほしい。サイクリング用の特別な自転車がほしい。道路をきれいにしてほしい。
23	中学生	男性	漕ぐときに少ない力でたくさん進む自転車があったらいいと思います！
24	中学生	女性	釘がタイヤに刺さってタイヤがパンクして悲しかった。入学したばかりだから結構シヨックだった。だけど、図書館近くの自転車屋さんが土日の中で無料で直してくれてうれしかった。
25	中学生	男性	自転車の前のかごを少し大きくした方がいい
26	中学生	男性	二列で並ばない
27	中学生	男性	危なくないように走る
28	高校生	女性	これからも安全に自転車を利用していこうと思います。
29	高校生	男性	ご高齢の方は免許を返納した方が良いと思います。僕は在日外国人(夫は日本人)の高齢者に車ではねられ、とても後のことが面倒だったから、ある程度の年齢まで達した方々にはその方のためにも免許返納を呼びかけていただきたいです。
30	高校生	男性	見通しが悪い路地など、曲がる時に少し怖いなという思いがある。
31	高校生	男性	登校中に歩道を歩いていたら、歩道で自転車に乗っている方がいてぶつかりそうになったので呼びかけなどをおこなってほしい。
32	高校生	女性	藤代、6号近くの道路が走りにくい所が多い。
33	高校生	男性	自転車が怖くないように道路を綺麗にして欲しい。
34	高校生	男性	道を綺麗にしてほしい。
35	高校生	男性	車道の自転車が通る部分が狭いと歩道を走ってしまいがちなので、広くしてほしい。
36	高校生	女性	自転車用の道が車と近くて危ない
37	高校生	女性	自転車野道が狭く、車と近くて怖い！
38	高校生	男性	カゴがさびてしまった。
39	高校生	男性	取手市には、取手一高自転車競技部、そして競輪場、利根川サイクリングロード等があるので、もっとそれらを活用したイベントを大々的にやるべきだと思います。
40	高校生	男性	自転車を利用する際、左側を走る事は義務付けた方がよいと思った。
41	高校生	女性	角で視野が狭い時、自転車とぶつかりそうになるのが危険だと感じた。
42	高校生	男性	道の幅を広くしてほしい
43	高校生	女性	歩道の段差が高くて自転車のタイヤにやさしくない所が多い。

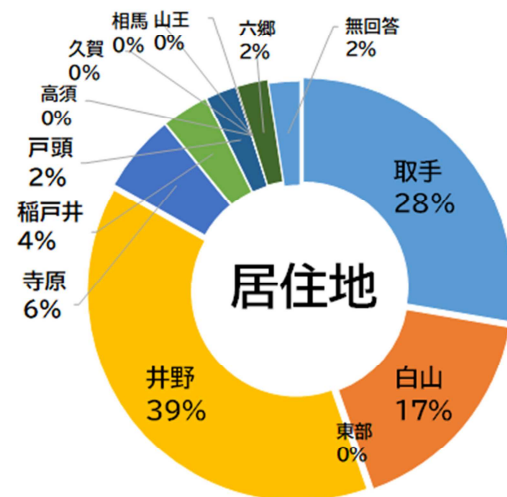
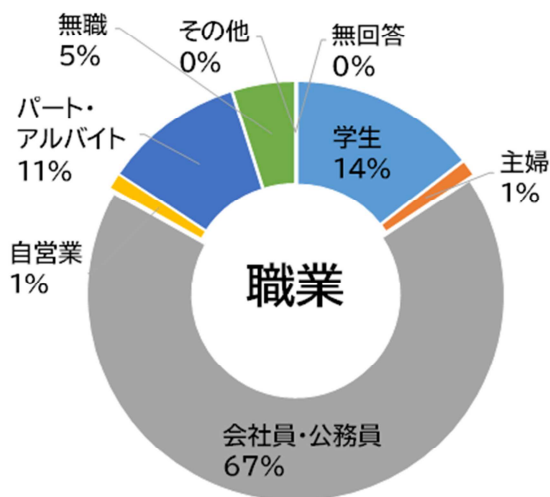
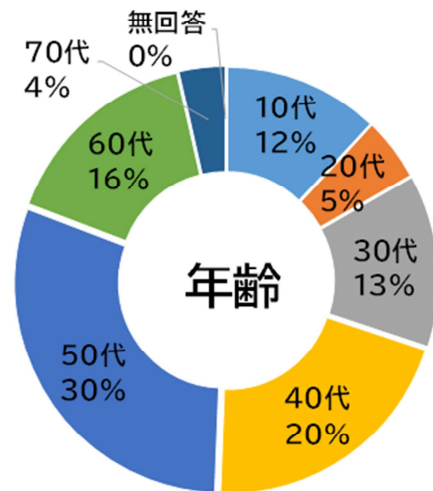
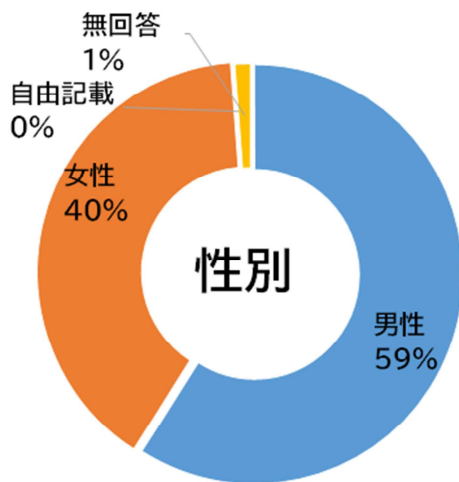
44	高校生	女性	坂道が大変
45	高校生	男性	たまに雨の日に水をはねてくる車が出て困っている。通学ですでにぬれてしまう。
46	高校生	女性	車も気遣ってほしい。
47	高校生	男性	向かい風にも対応できる自転車がほしいです。
48	高校生	女性	女子でも乗れるかご付きのクロスバイクがあれば、とてもいいと思います！
49	高校生	男性	自転車(価格が)高すぎる
50	高校生	男性	自転車や自動車が通る道を整備してほしいです。

(3)CST(サイクルステーションとりで)利用者向けアンケート

1)調査の概要

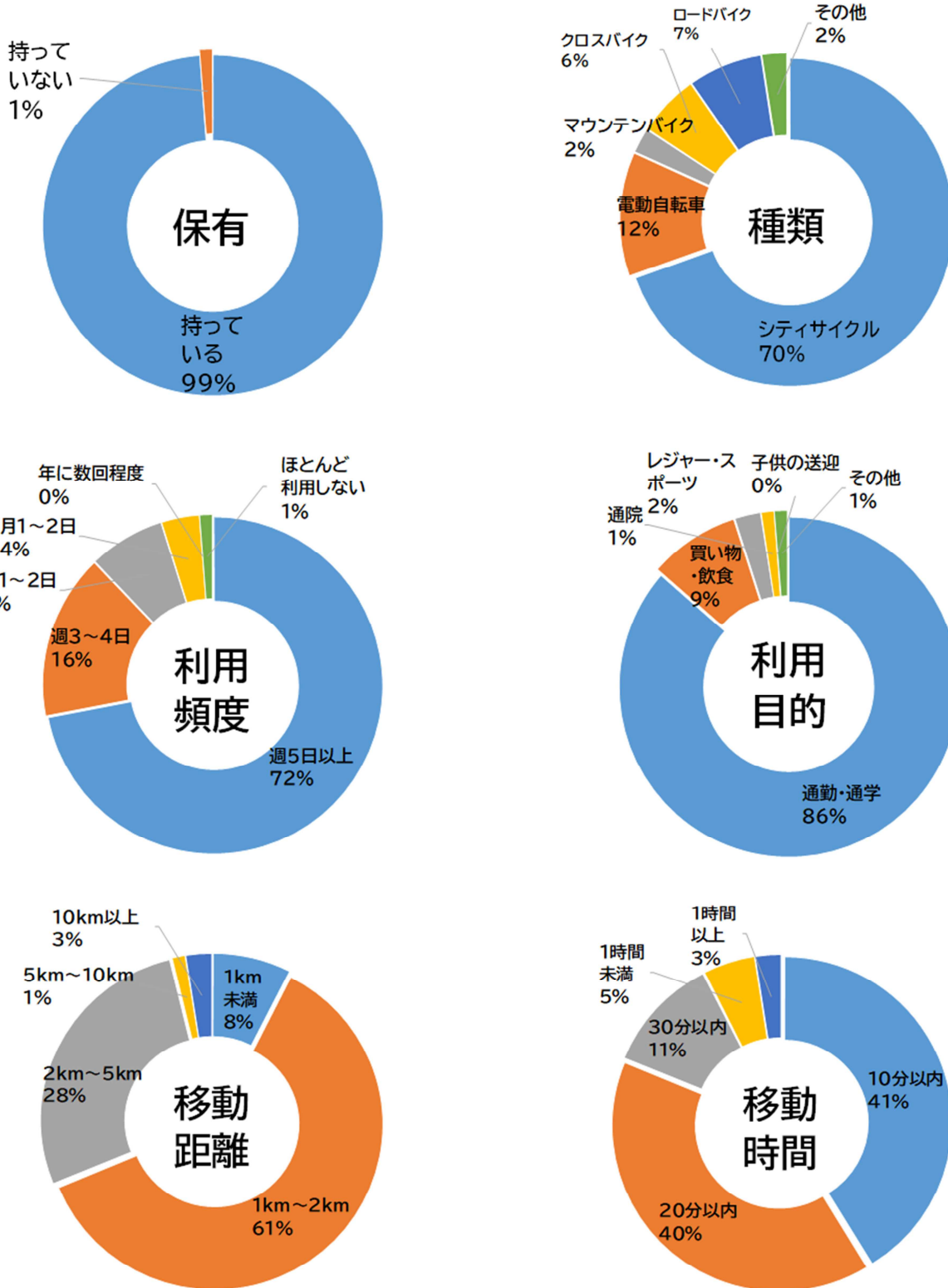
項目	
調査対象者	CST 利用者
方法	CST 利用者に直接配布
調査期間	7月中旬の2日間
回答状況	回答数:83

2)回答者の属性



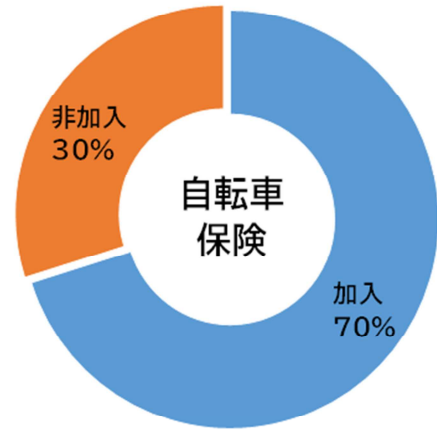
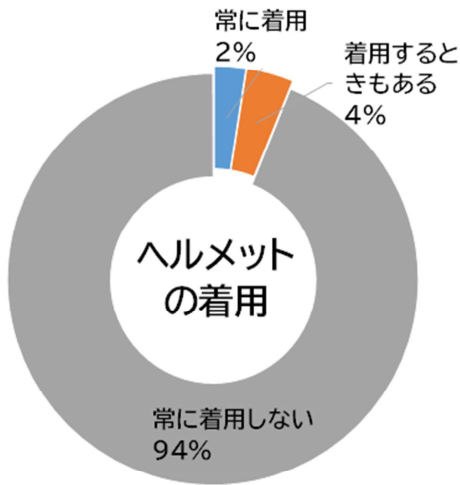
3) 自転車の利用状況について

駐輪場で実施したアンケートのため、持っているとの回答が99%で、うち70%がシティサイクルを保有していることがわかりました。また、週に1日以上利用する者が95%を占めています。利用目的は通勤通学が86%を占め、移動距離は1km~2kmが61%、移動時間は20分以内が81%と多い結果となりました。



4) 自転車利用時の安全対策について

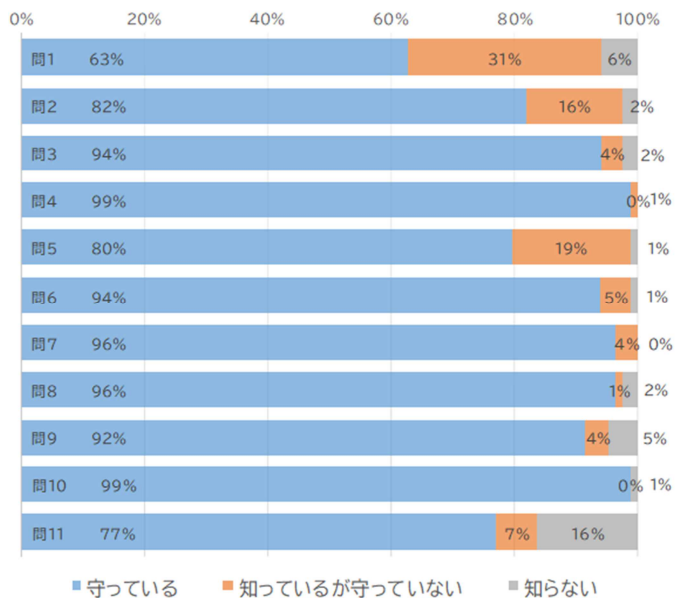
ヘルメットの着用率は、市民アンケート同様に 94%と低い結果となりました。対して、自転車保険の加入率は高く、70%の回答者が自転車保険に加入していると回答しました。



5) 自転車の交通ルール等について

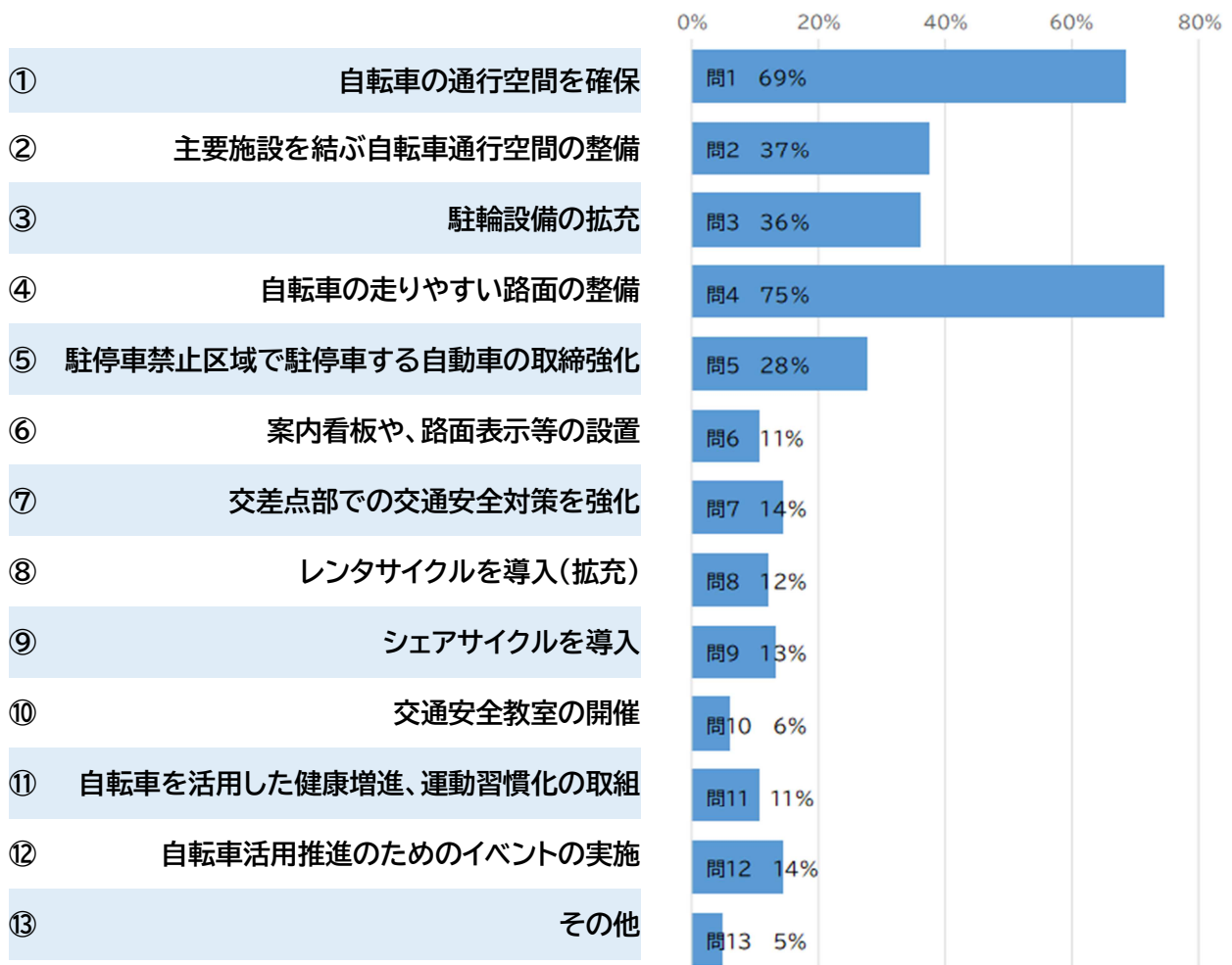
①の「自転車は原則車道を走る」について、「知っているが守っていない」が 31%と、他と比較して非常に高い点など、市民アンケートとおおむね同様の結果となりました。一方で、⑤の「交差点での一時停止と安全確認」の「知っているが守っていない」の割合が 19%と高くなりました。

- ① 自転車は原則車道を走る
- ② 車道は左側を走る
- ③ 歩道は歩行者優先である
- ④ 交差点では信号に従って通行する
- ⑤ 交差点での一時停止と安全確認
- ⑥ 踏切の一時停止、遮断機作動中横断禁止
- ⑦ 酒気帯び運転等の禁止
- ⑧ 自転車の二人乗りの禁止
- ⑨ 自転車で2台並走の禁止
- ⑩ 夜間はライトを点灯する
- ⑪ 子ども(13歳未満)はヘルメットを着用



6)自転車の利用促進にあたり特に必要と思われる施策

④の「自転車の走りやすい路面の整備」が75%、次いで「自転車の通行空間の確保」が69%と多く、市民アンケートと同様の傾向となりました。

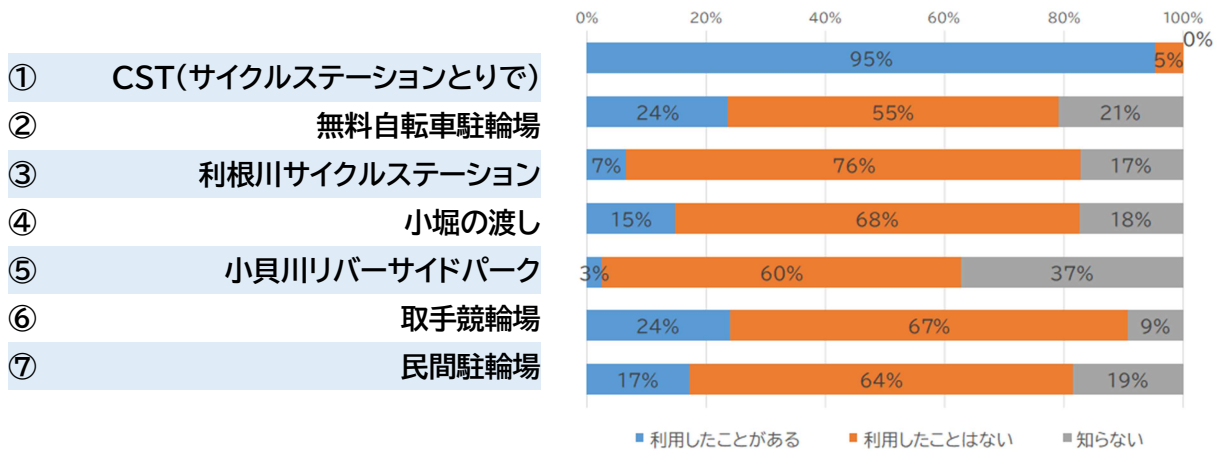


【その他の意見】

- ・駐輪場利用時の IC カード支払いの導入
- ・駐輪場以外の自転車の駐輪の取締の強化を。取手 i センター(元・常陽銀行前)が無断駐輪の無法地帯となっている。環境美化にも影響するため
- ・大人、こどもとも「左側通行」を知らない(守らない)のは、学校でサイクル講習をやらないのかな・・・と思った。
- ・歩道の段差(2cm~1cm)を無くして下さい。利根川サイクルステーションの开店時間が短い。特に夏は18時まで開けておくべき。

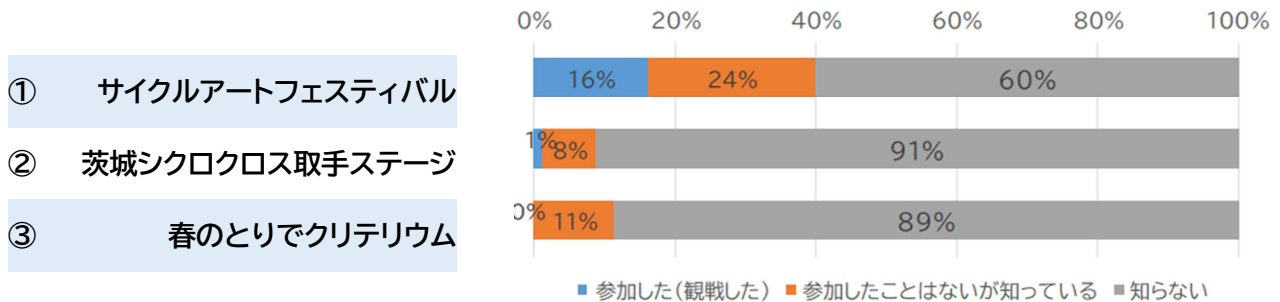
7) 取手市の自転車関連施設について

②「無料自転車駐輪場」は 24%の回答者が利用経験があると回答しました。その他の施設の利用経験はおおむね 10%前後であり、半数以上の方が利用経験がないことがわかりました。



8) 取手市内で開催されるイベントについて

①サイクルアートフェスティバルは、40%の回答者に認知されており、うち 16%は参加経験がありました。対して、②茨城シクロクロス取手ステージや③春のとりでクリテリウムは、競技という性質上、参加観戦者は 1%程度で、認知度も低いことがわかりました。



9)自転車に関する自由意見

1	50代 女性	<ul style="list-style-type: none"> ・CSTの支払いにクレジットカードを使えるようにしてほしい。 ・CST 出入り口付近に車が止まっている事が多く、出にくいことがあるので何か対応してほしい。 <p>・ほぼ毎日CSTを利用しております。スタッフの方々がいつも「おはようございます」「いってらっしゃい」「ありがとうございました」と声をかけて下さり、とても気持ちよく利用できております。夜遅いときにも誰かは居て下さり、照明も明るいのでとても安心して利用することが出来、ありがたく思っています、</p>
2	60代 男性	<p>自転車の街、取手としては自転車利用促進にもっと力を入れるべき。利根川、小貝川のサイクリングロードの整備、利用促進イベントの実施、防災ステーションをサイクルカフェにする。フォトコンテストの実施、歩道の段差を無くす。車椅子にも優しいはず。「トリカン」には自転車専用レースを作る。小文間地区のサイクルロードから東京芸術大校地に入れる木道の整備。自転車の街、アートの街が融合することで楽しい魅力的な特徴の有る街になる。</p>
3	40代 女性	<p>自転車に乗って複数名の女性のつきまとい行為をしている男性がいる(40~50代)。特に昼。取り締まって欲しい。警察はすでに把握済みかと思うが、市の方でも対応策を考えてほしい。尾行をするだけで女性には危害を加えていないという理由で警察は何もできないということですが、つけられている側の精神的ショックは大きいです。</p>
4	20代 男性	<p>サイクルステーションとりでは、利用料金が高いので、もう少し安くしてほしい。(柏市は駅前駐輪場が千円で利用できるらしい) 2階に移動のエレベーターも使いづらい。車輪をのせる物が動いてとても使いづらい。管理事務室に夜遅くなくても人がいてくれるので安心します。</p>
5	20代 女性	<p>全体的に車道の地割れなどでハンドルを取られて怖いです。また、坂道も多いので(道幅限られた中で、調整も大変ですが)安全に上り下れるよう整備して下さると嬉しいです。コロナ禍の運動不足解消にも繋がりますし、自転車乗りが増えますように。</p>
6	30代 男性	<p>市内走行においてはホビーユース(MTB,ロード等)はサイクリングロードを含めて整備ができていない部分があるので市道に出ざるを得ません。側道に小石が堆積していてパンクリスクが他所と比べると高いため敬遠されていると思われます。</p>
7	60代 男性	<p>米ノ井から取手駅サイクルステーションまで通勤しています。先ず第一に自転車で車道を走るとたまに幅寄せ(特に大型)されて恐ろしい。とげぬき地藏付近です。また、もう少し駐輪場(ステーション)の契約金額を下げてください。</p>
8	40代 男性	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルステーションの料金が高すぎる。 ・サイクルステーションに従事している方でマスクをせずに対応する人がいる(朝) ・サイクルステーションに従事している方で建物わきで小便をする人がいる(夜)
9	60代 男性	<p>舗装面をカラー化して事故防止をはかっているが、塗装の面でタイヤがすべって転んだことがあります。幸い事故にはなりませんでした。もう少しすべり止めを使う等、対策してもらいたいと思います。</p>

10	50代 女性	道路の左側を通行するにあたり、道路工事で左路肩が中途半端に削られて構造されてるので、自転車の車輪がハマって危険だと思っております。工事する際に、路肩まできちんと対応してほしいです。
11	60代 男性	取手市内、自転車で道路を走ると大変危険な所が多い。戸頭から市役所へ、市役所から山王方面、市役所から取手西口駅方面へ市長、市議、職員の皆様、一度通勤時走って下さい。
12	50代 男性	自転車活用を公共交通機関を補完するものとするならば、①通行帯の確保、整備 ②走りやすい舗装といった何かモノをつくるというよりは基盤をととのえることが必要かと思えます。
13	60代 女性	CSTのラックが高く、乗せるのに苦労しています。低いところは重い自転車だけですが、自由にに使わせてほしいです。ラックの乗せる高さを全部低くしてほしいです。
14	10代 男性	・茨城県土浦市のように自転車の街にしてほしい。 ・自転車専用の道を常に確保してほしい ・(土浦市)りんりんロードのような長距離なサイクルロードを作ってほしい
15	40代 男性	「りんりんスクエア土浦」のように取手駅直結のサイクリング拠点施設などがあると自転車のまちとして内外にアピールできて活性化につながるのでは？と思えます。
16	50代 女性	最近自転車に乗る方のマナーが悪い方が多いようにみえます。一番は斜め横断、信号無視等。自転車が走れるスペースが車道・歩道以外にほしいです。
17	50代 男性	CSTでお世話になっております。いつもありがとうございます。CST内に乗車のまま乗り入れる方に対し注意下されると助かります。
18	40代 男性	CSTは素晴らしいデザインで利用しやすいと思います。今後このような施設がいくつも出来たらと思います。
19	20代 男性	役所の通り沿いを除き、道が全体的に狭く、自転車に対して都合が悪く、事故が起こりやすい。
20	30代 男性	CSTと駅ホーム、または改札への近道があったら便利だと思います。
21	60代 男性	市内の道路が悪すぎる。(穴があったり、雨の後に水がたまっている)
22	30代 男性	自転車の大会があるなんて興味あります。今まで知りませんでした。
23	50代 男性	CSTの利用料金が高い

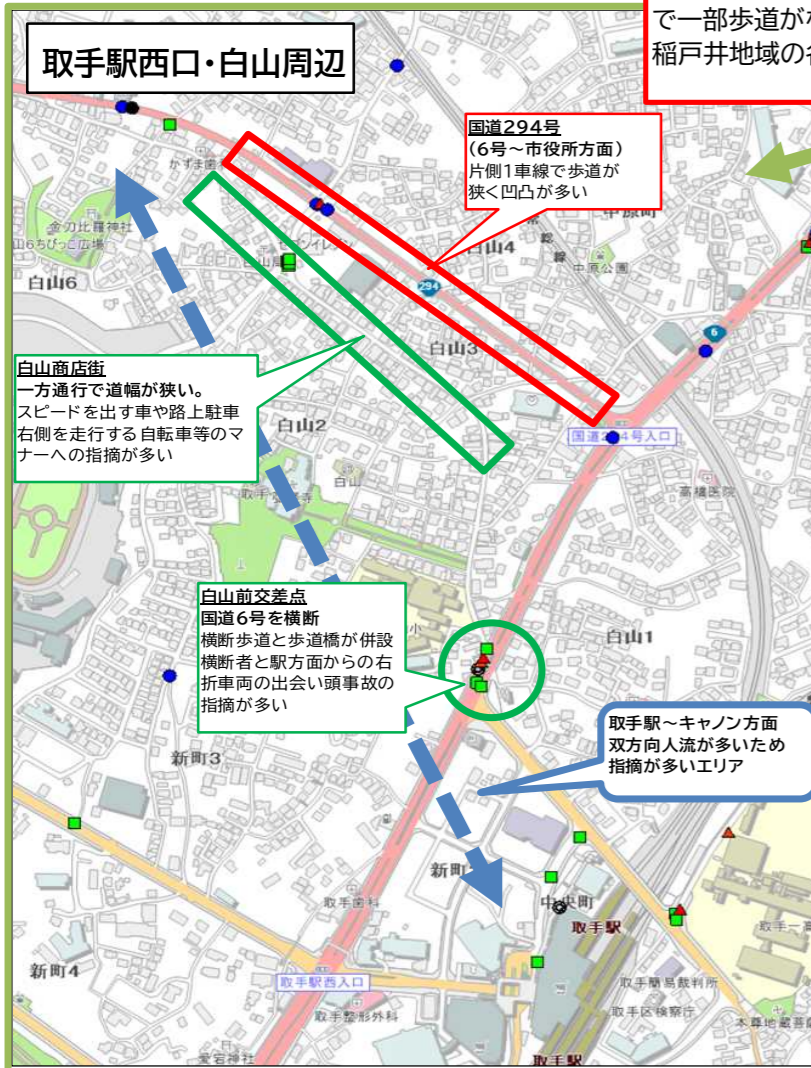
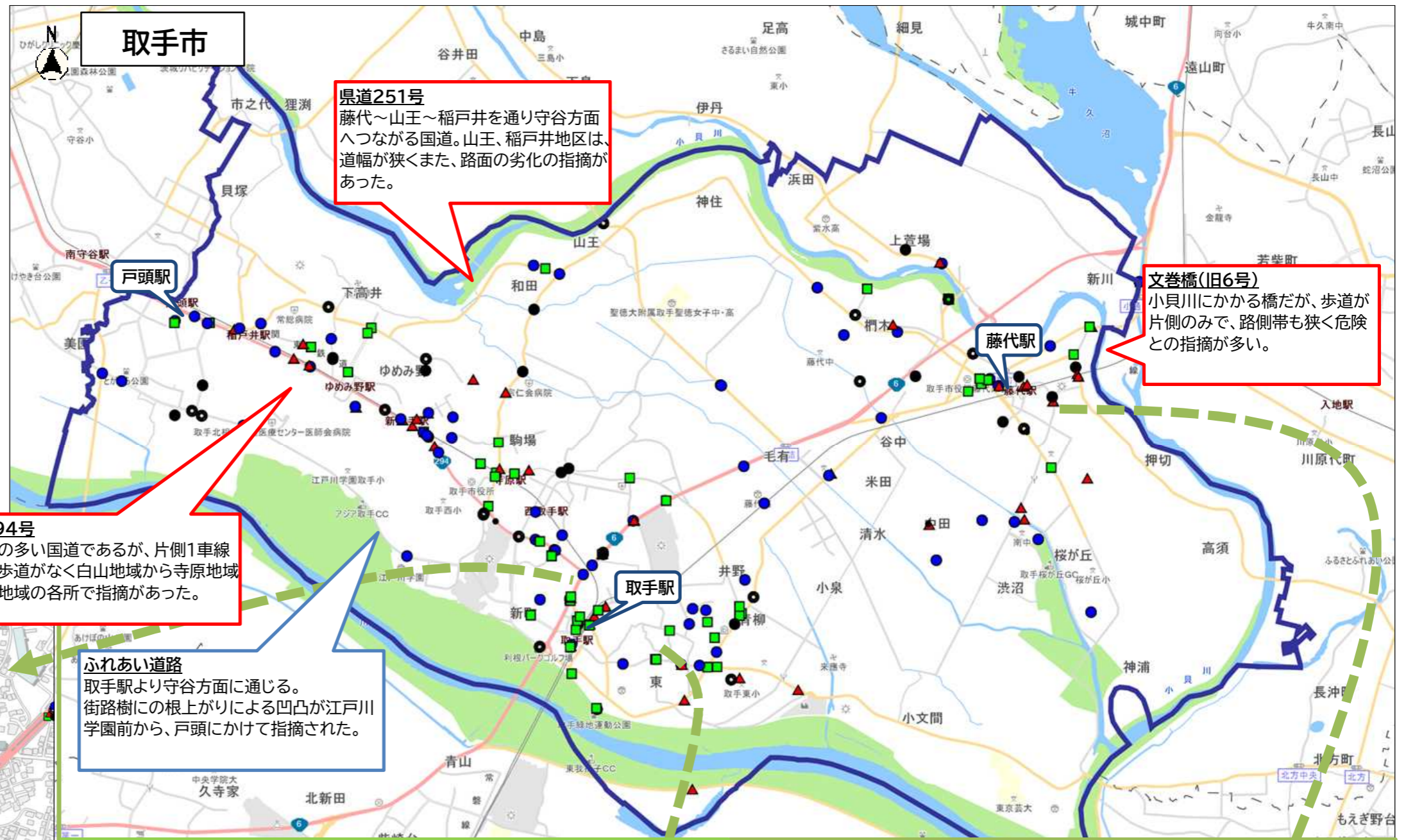
(4)指摘箇所一覧

本市民アンケートおよび中高生向けアンケート、CST 利用者アンケートの指摘を統合し、下記の通り分類し、地図上にマッピングしました。運転(通行)マナーに関する指摘および、陥没・わだちなどの路面の劣化についての指摘が多く見られました。

記号	種別	件数
■	運転マナー(自転車)	21
	通行マナー(歩行者)	3
	運転マナー(車)	33
●	陥没・わだちなど	45
	草木(民地)	3
	草木(道路)	13
●	見通しが悪い	18
	暗い	7
▲	通行スペースが無い	25
	歩道が無い	7
	道路が狭い	14
◎	その他	20
総計		209

指摘箇所一覧図

種別	件数
■ 運転マナー(自転車)	21
■ 通行マナー(歩行者)	3
■ 運転マナー(車)	33
● 陥没・わだちなど	45
● 草木(民地)	3
● 草木(道路)	13
● 見通しが悪い	18
● 暗い	7
● 通行スペースが無い	25
▲ 歩道が無い	7
▲ 道路が狭い	14
◎ その他	20
総計	209



2.3 課題のまとめ

当市の自転車関連施策や資源等の状況やアンケートの結果を踏まえると、自転車活用の推進に向けて主に以下のような課題があると考えられます。

①安全安心

- ・市民全般において、自転車の交通ルールへの認知や理解が一部不十分であり、自転車の交通ルールが適切に守られているとは言えない状況にあります。
- ・中学生を除いたほとんどの市民がヘルメットを着用しておらず、また中高生および CST 利用者以外の市民では半数以上が自転車損害賠償責任保険に未加入の状況です。

②観光振興

- ・CST 利用者以外の市民においては、すべての自転車関連施設について半数以上が認知しておらず、利用したことがある人もごくわずかとなっています。
- ・サイクリングイベントの認知度が低く、茨城シクロクロスやとりでクリテリウムについてはほとんど認知されていない状況です。

③健康増進

- ・自転車を利用した健康増進について、現状では広報周知等の施策が実施されていない状況です。
- ・自転車の利用目的について、中高生を除いた市民アンケートでは「通勤・通学」での利用は少数に留まっています。

④環境整備

- ・「自転車の利用促進にあたり特に必要と思われる施策」について、すべてのアンケートにおいて「通行空間の確保」と「走りやすい路面の整備」を求める声が多く、これらが自転車の利用や活用を阻害する要因となっていることが考えられます。

3. 施策目標

3.1 茨城県施策目標

上位計画である「いばらき自転車活用推進計画」では、自転車活用推進法の理念や国の策定する「自転車活用推進計画」の目標に対して、茨城県における政策課題を踏まえたものとして、以下の図-3.1 に示す 4 つの計画目標を設定しています。

施策目標 1 サイクルツーリズム¹³⁾の推進による地域の活性化

- ・ 国内外からの観光誘客に向けて、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用した地方創生の取組を深化させつつ、県内各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを官民が一体となって取組み、地域の活性化や稼げる地域づくりを推進します。

施策目標 2 自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間¹⁸⁾の整備

- ・ 本県は、公共交通の利用エリアが限られ、自動車分担率¹⁹⁾が高いことから、公共交通と自転車の連携拡大を通じた移動手段の転換を図ります。また、観光客やサイクリスト等誰もが安全・快適に自転車を活用できる環境整備を行い、自転車交通の役割拡大を図ります。

施策目標 3 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

- ・ 自転車乗車中の事故死者数が全国平均よりも高い傾向にあることから、自転車事故を抑制・防止し、安全な自転車利用環境を創出するため、利用者の世代に応じたきめ細やかな安全教育を実施するほか、自転車・自動車・歩行者が互いの特性や交通ルールを理解し、尊重し合いながら、交通安全意識の向上を図ります。

施策目標 4 自転車を活用した県民の健康増進

- ・ 社会保障費の増大や生活習慣病の増加などに対応し、県民の体力向上につながるよう自転車活用の有用性を県民に積極的に発信するとともに、県民が自転車を活用した取組に参加できる機会を創出し、県民の健康増進を図ります。

資料:いばらき自転車活用推進計画(茨城県)

図 3-1 茨城県の自転車活用に向けた計画目標

3.2 本市施策目標

茨城県における政策課題を踏まえた「いばらき自転車活用推進計画」の施策目標を基本とし、取手市における課題を踏まえた目標として以下のとおり設定し、持続可能な社会を構築するため、SDGsの理念を踏まえた自転車施策を推進します。

【取手市の自転車活用推進に係る基本方針】

誰もが安全・快適に自転車を活用することができる地域社会の実現

目標 1 【安全安心】

自転車事故のない安全で安心な社会の実現

自転車事故を抑制・防止し、安全な自転車利用環境を創出するため、利用者の世代に応じたきめ細やかな安全教育を実施するほか、自転車・自動車・歩行者が互いの特性や交通ルールを理解し、尊重し合いながら、交通安全意識の向上を図ります。

目標 2 【観光振興】

サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

取手緑地運動公園や小貝川リバーサイドパーク、取手競輪場などの地域資源や恵まれた河川環境・眺望景観の特色を最大限活かしたサイクルツーリズムを、官民が一体となって取り組み、地域の活性化や魅力発信、観光誘客の促進を図ります。

目標 3 【健康増進】

自転車を活用した市民の健康増進

市民一人ひとりが健康で幸せな生活を送るため、「健幸なまち」の実現に向け、スマートウェルネスとりでの推進が図れるよう、市民の体力向上につながる自転車活用の有用性を積極的に発信するとともに、市民が自転車を活用した取り組みに参加できる機会を創出し、市民の健康増進を図ります。

目標 4 【環境整備】

自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備

本市は、首都圏を結ぶ茨城南の玄関口であり、中心部は鉄道および国道等の主要な道路が結節している交通利便性の高いエリアではありますが、自転車分担率が高いことから、低炭素社会の実現に向けて公共交通と自転車の連携拡大を通じた移動手段の転換促進を図ります。また、市民に限らず本市を訪れる観光客やサイクリスト等、誰もが安全・快適に自転車を活用できる環境整備を行い、自転車交通の役割拡大を図ります。